

ボデー電装品

電源系統	T-2	ワイパ アンド ウオッシャ	T-15
フューズ整備上の注意	T-2	フロント・ワイパ・モータ取外し/取付け	T-15
メイン・フューズ取外し/取付け	T-2	フロント・ワイパ・モータ点検	T-15
イグニッション・スイッチ取外し/取付け	T-2	フロント・ワイパ・アーム アンド	
イグニッション・スイッチ点検	T-3	ブレード取外し/取付け	T-16
キーレス・スイッチ点検	T-3	フロント・ワイパ・アーム アンド	
シガー・ライタ取外し/取付け	T-3	ブレード調整	T-17
シガー・ライタ点検	T-4	フロント・ワイパ・リンク取外し/取付け	T-17
エクステリア・ライティング・システム	T-5	フロント・ウオッシャ・タンク	
フロント・コンビネーション・ライト		取外し/取付け	T-17
取外し/取付け	T-5	フロント・ウオッシャ・モータ	
ヘッド・ライト エーミング調整	T-5	取外し/取付け	T-17
ヘッド・ライト バルブ交換	T-6	フロント・ウオッシャ・モータ点検	T-18
ポジション・ライト バルブ交換	T-6	フロント・ウオッシャ・ノズル取外し	T-18
フロント・ターン・ライト バルブ交換	T-7	フロント・ウオッシャ・ノズル取付け	T-18
フロント・サイド・ターン・ライト		フロント・ウオッシャ・ノズル調整	T-18
取外し/取付け	T-7	フロント・ウオッシャ・パイプ	
リヤ・コンビネーション・ライト		取外し/取付け	T-18
取外し/取付け	T-7	警告、表示装置	T-19
ハイ・マウント・ストップ・ライト		コンビネーション・メータ取外し/取付け	T-19
取外し/取付け	T-7	コンビネーション・メータ分解/組付け	T-19
ハイ・マウント・ストップ・ライト		コンビネーション・メータ点検	T-20
バルブ交換	T-8	コンビネーション・メータの	
ライセンス・ライト取外し/取付け	T-8	入出力チェック・モード	T-21
コンビネーション・スイッチ		ワーニング アンド インジケータ・	
取外し/取付け	T-8	ライト バルブ交換	T-24
コンビネーション・スイッチ		フューエル・タンク・ゲージ・ユニット	
分解/組付け	T-9	点検	T-24
コンビネーション・スイッチ点検	T-9	オイル・ブレッシャ・スイッチ点検	T-24
ハザード・スイッチ取外し/取付け	T-10	ホーン取外し/取付け	T-24
ハザード・スイッチ点検	T-11	ホーン・リレー点検	T-24
バック・アップ・ライト・スイッチ		オーディオ/カー・ナビゲーション・	
取外し/取付け	T-11	システム	T-25
バック・アップ・ライト・スイッチ点検	T-11	オーディオ・ユニット取外し	T-25
ヘッド・ライト・リレー取外し/取付け	T-11	オーディオ・ユニット取付け	T-25
ヘッド・ライト・リレー点検	T-12	LCDユニット取外し	T-25
TNSリレー取外し/取付け	T-12	LCDユニット取付け	T-26
TNSリレー点検	T-12	ドア・スピーカ取外し/取付け	T-26
フラッシャ・ユニット取外し/取付け	T-13	ドア・スピーカ点検	T-26
フラッシャ・ユニット点検	T-13	ツィータ・スピーカ取外し/取付け	T-27
インテリア・ライティング・システム	T-14	ツィータ・スピーカ点検	T-27
ルーム・ライト取外し/取付け	T-14	マニュアル・アンテナ取外し/取付け	T-27
ルーム・ライト点検	T-14	マニュアル・アンテナ点検	T-27
ドア・スイッチ取外し/取付け	T-14	パワー・アンテナ取外し/取付け	T-28
ドア・スイッチ点検	T-14	パワー・アンテナ分解/組付け	T-28

パワー・アンテナ点検	T-28
アンテナ・マスト取外し	T-29
アンテナ・マスト取付け	T-29
GPSアンテナ取外し/取付け	T-29
フロント・アンテナ・フィーダ	
取外し/取付け	T-30
フロント・アンテナ・フィーダ点検	T-30
リヤ・アンテナ・フィーダ取外し/取付け	T-31
リヤ・アンテナ・フィーダ点検	T-32
オーディオ・アンプ取外し/取付け	T-32
オーディオ・リレー取外し/取付け	T-32
オーディオ・リレー点検	T-33
SRSエア・バッグ・システム	T-33
整備上の警告	T-33
整備上の注意	T-34
運転席側エア・バッグ・モジュール	
取外し/取付け	T-34

助手席側エア・バッグ・モジュール	
取外し/取付け	T-36
SASユニット取外し/取付け	T-36
クロック・スプリング取外し/取付け	T-37
クロック・スプリング調整	T-37
クロック・スプリング点検	T-37
エア・バッグ・モジュールの	
作動(展開)許可操作	T-38
エア・バッグ・モジュールの	
作動(展開)方法	T-38
エア・バッグ・モジュールの廃棄	T-42
自己診断機能	T-43
SRSエア・バッグ・システム	T-43
トラブルシューティング	T-50
カー・ナビゲーション・システム	T-50
SRSエア・バッグ・システム	T-57

電源系統

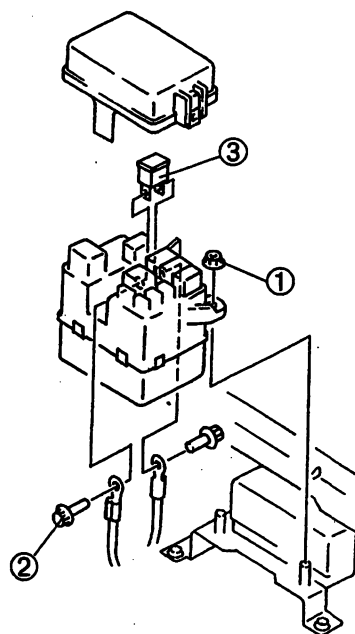
フューズ整備上の注意

注意

- フューズが溶断した場合は、原因をよく調べて不具合箇所を修正した後、必ず指定容量のフューズと交換する。不具合を修正しないと、フューズが再び溶断する恐れがある。

メイン・フューズ取外し/取付け

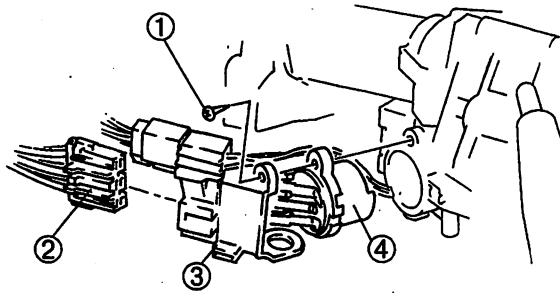
1. バッテリー(－)ケーブルを切離す。
2. 図に示す手順で取外す。
3. 取外しと逆の手順で取付ける。



1	ナット
2	ボルト
3	メイン・フューズ

イグニッション・スイッチ取外し/取付け

1. バッテリー(－)ケーブルを切離す。
2. コラム・カバーを取外す。(参照：セクションS、インストルメント・パネル アンド コンソール、コラム・カバー取外し/取付け)
3. 図に示す手順で取外す。
4. 取外しと逆の手順で取付ける。



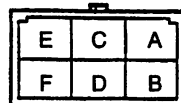
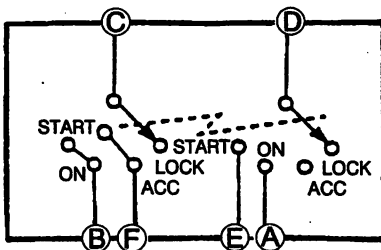
1	スクリュー
2	コネクタ
3	カバー
4	イグニッション・スイッチ

イグニッション・スイッチ点検

1. イグニッション・スイッチを取外す。(参照：イグニッション・スイッチ取外し／取付け)
2. サーキット・テストを使用して、導通状態が下表のようになることを確認する。

○—○：導通あり

スイッチ・ポジション	端子					
	A	B	C	D	E	F
LOCK						
ACC			○—○			○—○
ON	○—○	○—○	○—○	○—○		○—○
START		○—○	○—○	○—○	○—○	

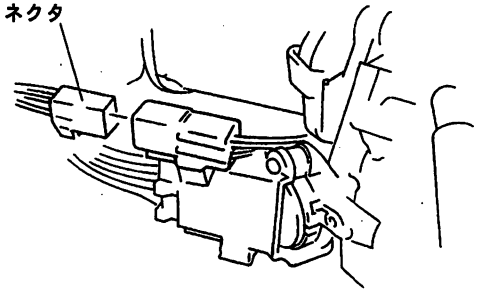


3. 表に示す通りに導通が確認できない場合は、イグニッション・スイッチを交換する。

キーレス・スイッチ点検

1. コラム・カバーを取外す。(参照：セクションS、インストルメント・パネル アンド コンソール、コラム・カバー取外し／取付け)
2. キーレス・スイッチ・コネクタを切離す。

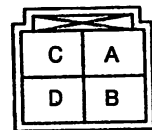
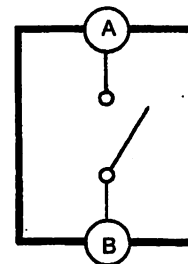
キーレス・スイッチ・コネクタ



3. サーキット・テストを使用して、導通状態が下表のようになることを確認する。

○—○：導通あり

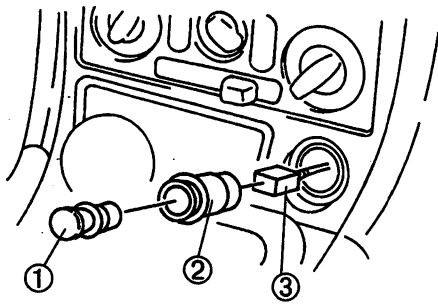
測定条件	端子	
	A	B
キーをキー・シリンダに差したとき	○—○	○—○
キーをキー・シリンダから抜いたとき		



4. 表に示す通りに導通が確認できない場合は、キー・シリンダを交換する。(参照：セクションN、マニュアル・ステアリング、エネルギー・アブソーバ・シャフト分解／組付け、分解時の留意点) (セクションN、マニュアル・ステアリング、エネルギー・アブソーバ・シャフト分解／組付け、取付け時の留意点)

シガー・ライター取外し／取付け

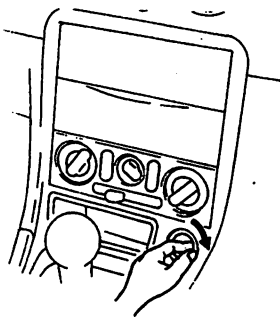
1. バッテリ（－）ケーブルを切離す。
2. 図に示す手順で取外す。
3. 取外しと逆の手順で取付ける。



1	シガー・ライター・プラグ
2	ソケット ☞ 取外し時の留意点
3	コネクタ

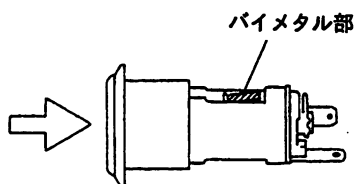
ソケット取外し時の留意点

- ソケットを人差し指と親指でしっかりつまみ、ひねりながら手前に引き出す。



シガー・ライター点検

1. イグニッション・スイッチをACCの位置にする。
2. シガー・ライター・プラグをソケットに押し込み、10～20秒後に元の状態に復帰することを確認する。
3. シガー・ライターが正常に作動しない場合は、ソケットを取外す。(参照：シガー・ライター取外し/取付け)
4. ソケットを正面(図の矢印方向)から見たとき、バイメタル部の曲がり具合を確認する。

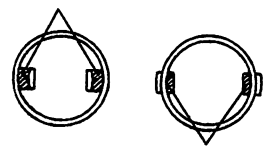


バイメタル部の曲がり具合



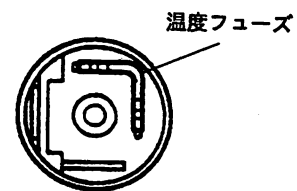
正常

バイメタル部の側面(外側)が見える



バイメタル部の側面(内側)が見える(バイメタル部が広がっている)

6. ソケット裏側の温度フューズが溶断していないか確認する。



7. 温度フューズが溶断している場合は、ソケットを交換する。
8. ソケットのバイメタル部および温度フューズが正常な場合は、シガー・ライターの関連ハーネスを点検する。
9. シガー・ライターの関連ハーネスが正常な場合は、シガー・ライター・プラグを交換する。

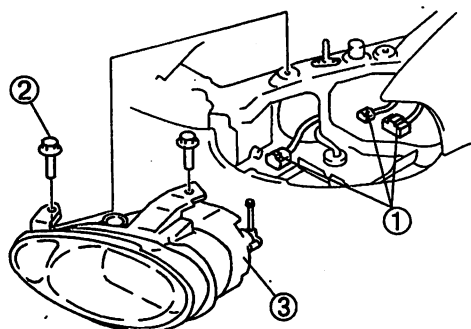
5. バイメタル部の側面(図の斜線部)が見える場合は、ソケットを交換する。

エクステリア・ライティング・システム

エクステリア・ライティング・システム

フロント・コンビネーション・ライト取外し／取付け

1. バッテリ（－）ケーブルを切離す。
2. フロント・バンパを取外す。（参照：セクション S、バンパ、フロント・バンパ取外し／取付け）
3. 図に示す手順で取外す。
4. 取外しと逆の手順で取付ける。
5. ヘッド・ライトのエーミングを調整する。（参照：ヘッド・ライト エーミング調整）



1	コネクタ
2	ボルト
3	フロント・コンビネーション・ライト

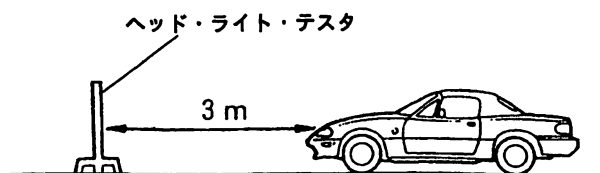
ヘッド・ライト エーミング調整

参考

- ヘッド・ライトのエーミングは、基本的にロー・ビームで調整する。ただし、ハイ・ビーム調整用テストがない場合は、ハイ・ビームで調整してもよい。

ロー・ビームによるエーミング調整

1. タイヤの空気圧を標準値にする。
2. 車両を空車状態にして、水平な場所に置く。
3. 運転席に1人乗車する。
4. 車両とヘッド・ライト・テストを正対させ、テストとヘッド・ライトの距離を3 mにセットする。



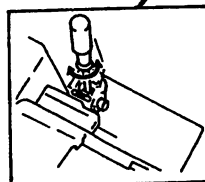
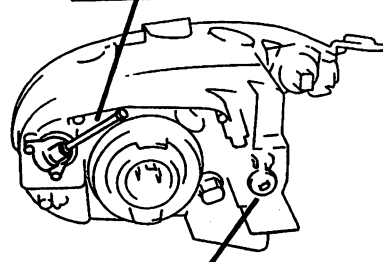
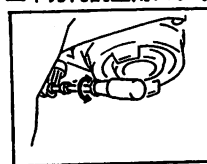
5. 調整しない方のヘッド・ライト・コネクタを切離す。
6. ヘッド・ライトをロー・ビームで点灯させる。

注意

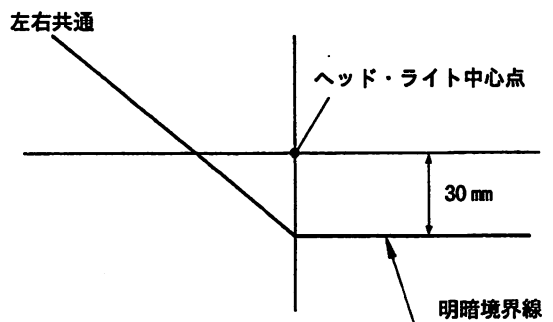
- 調整用スクリュの緩みによりエーミングが狂う恐れがあるため、スクリュは必ず締め込み方向で回し終える。

7. エーミング調整用スクリュを回して、左右それぞれのヘッド・ライトの明暗境界線を、図に示す位置に調整する。

上下方向調整用スクリュ



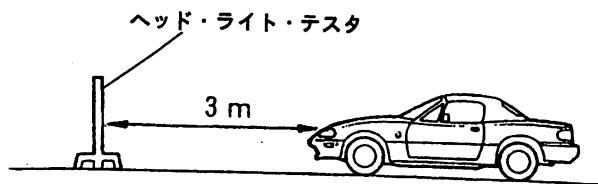
左右方向調整用スクリュ



ハイ・ビームによるエーミング調整

1. タイヤの空気圧を標準値にする。
2. 車両を空車状態にして、水平な場所に置く。
3. 運転席に1人乗車する。
4. 車両とヘッド・ライト・テストを正対させ、テストとヘッド・ライトの距離を3 mにセットする。

エクステリア・ライティング・システム



5. 調整しない方のヘッド・ライト・コネクタを切離す。

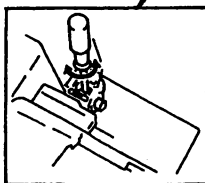
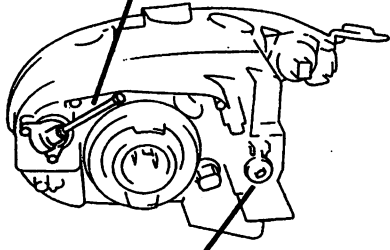
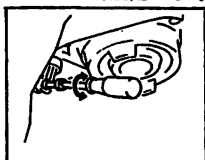
6. ヘッド・ライトをハイ・ビームで点灯させる。

注意

- 調整用スクリュの緩みによりエーミングが狂う恐れがあるため、スクリュは必ず締め込み方向で回し終える。

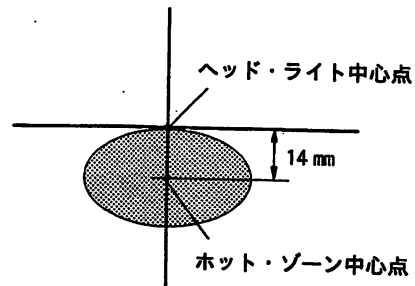
7. エーミング調整用スクリュを回して、左右それぞれのヘッド・ライトのホット・ゾーン（ハイ・ビームの明るい部分）の中心を、図に示す位置に調整する。

上下方向調整用スクリュ

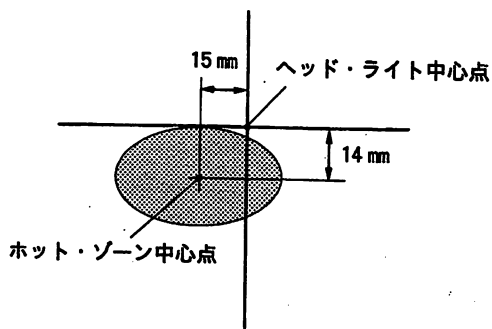


左右方向調整用スクリュ

左側



右側



ヘッド・ライト バルブ交換

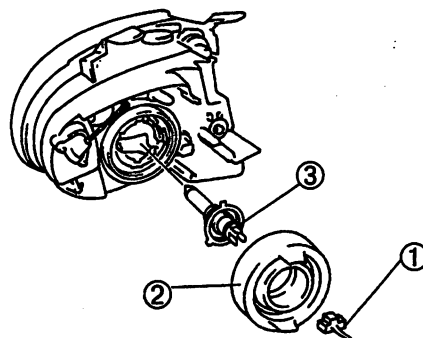
1. バッテリ（－）ケーブルを切離す。

注意

- ハロゲン・ライト・バルブは、点灯時高温になるため、バルブの表面に油脂などが付着すると寿命が短くなる。バルブを取扱うときはフランジ部を持ち、手などがガラス面に触れないようにする。

2. 図に示す手順で取外す。

3. 取外しと逆の手順で取付ける。



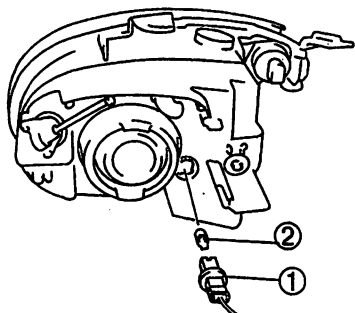
1	コネクタ
2	カバー
3	バルブ

ポジション・ライト バルブ交換

1. バッテリ（－）ケーブルを切離す。

2. 図に示す手順で取外す。

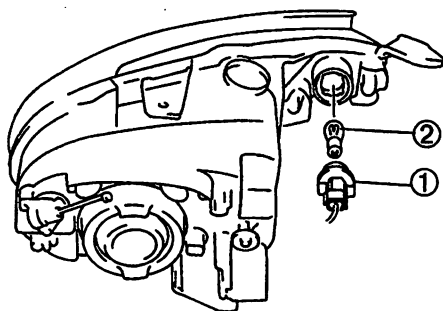
3. 取外しと逆の手順で取付ける。



1	ソケット
2	バルブ

フロント・ターン・ライト バルブ交換

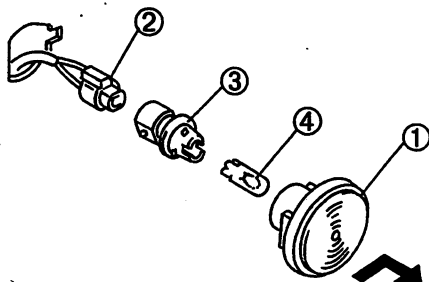
1. バッテリ (-) ケーブルを切離す。
2. 図に示す手順で取外す。
3. 取外しと逆の手順で取付ける。



1	ソケット
2	バルブ

フロント・サイド・ターン・ライト取外し／取付け

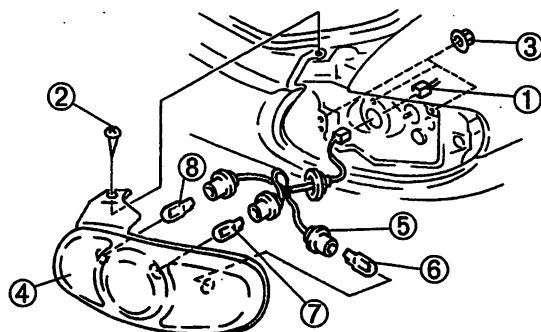
1. バッテリ (-) ケーブルを切離す。
2. 図に示す手順で取外す。
3. 取外しと逆の手順で取付ける。



1	フロント・サイド・ターン・ライト
2	コネクタ
3	ソケット
4	バルブ

リヤ・コンビネーション・ライト取外し／取付け

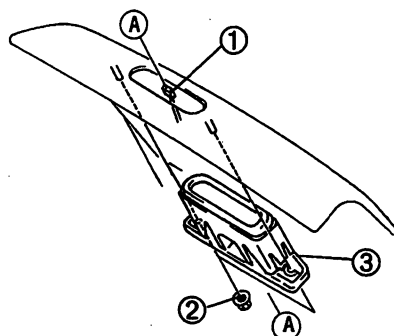
1. バッテリ (-) ケーブルを切離す。
2. トランク・エンド・トリムを取外す。(参照：セクションS、トリム、トランク・エンド・トリム取外し／取付け)
3. 図に示す手順で取外す。
4. 取外しと逆の手順で取付ける。



1	コネクタ
2	スクリュー
3	ナット
4	リヤ・コンビネーション・ライト
5	ソケット
6	バルブ (ストップ/テール・ライト)
7	バルブ (リヤ・ターン・ライト)
8	バルブ (バック・アップ・ライト)

ハイ・マウント・ストップ・ライト取外し／取付け

1. バッテリ (-) ケーブルを切離す。
2. 図に示す手順で取外す。
3. 取外しと逆の手順で取付ける。

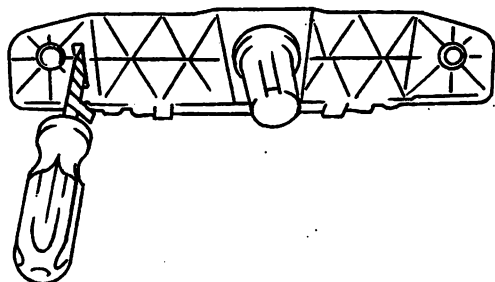


1	コネクタ
2	ナット
3	ハイ・マウント・ストップ・ライト ● 取外し時の留意点

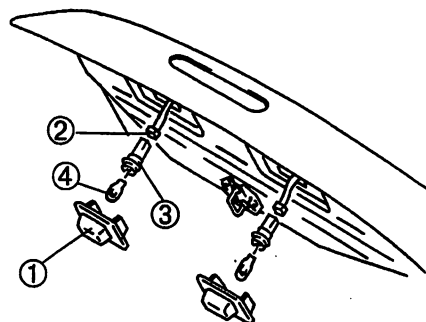
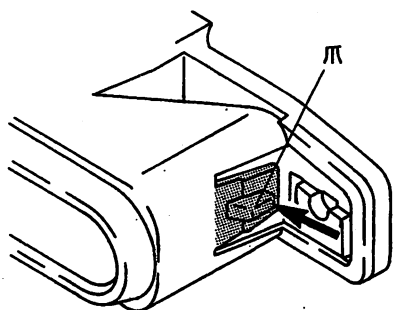
エクステリア・ライティング・システム

ハイ・マウント・ストップ・ライト取外し時の留意点

1. 保護テープを巻いた（－）ドライバを、ハイ・マウント・ストップ・ライト裏側のサービス・ホールに差し込む。



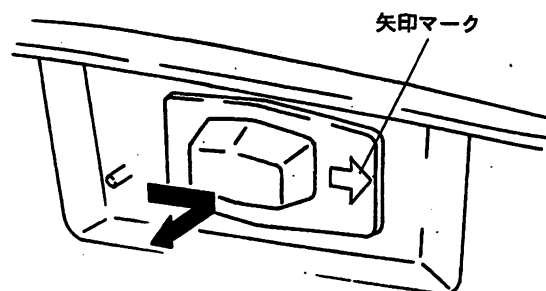
2. 矢印方向に（－）ドライバを押し当てて爪を外し、ハイ・マウント・ストップ・ライトを手前に引き出す。



1	レンズ ● 取外し時の留意点
2	コネクタ
3	ソケット
4	バルブ

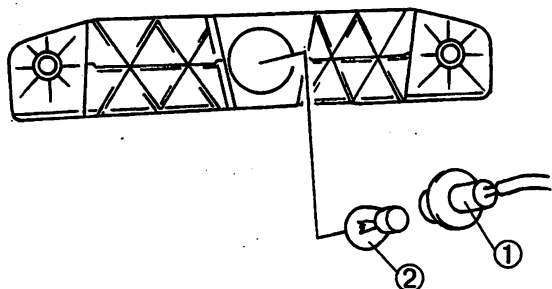
レンズ取外し時の留意点

- 矢印マークの方向にスライドさせて、レンズを取外す。



ハイ・マウント・ストップ・ライト バルブ交換

1. バッテリ（－）ケーブルを切離す。
2. 図に示す手順で取外す。
3. 取外しと逆の手順で取付ける。



1	ソケット
2	バルブ

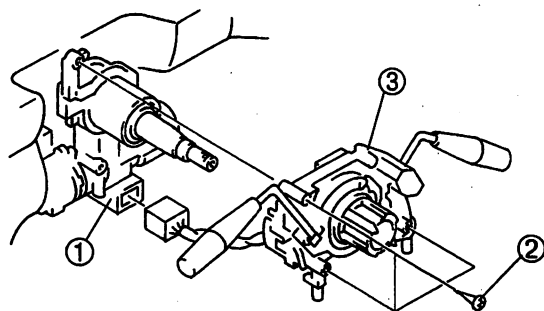
コンビネーション・スイッチ取外し／取付け

1. バッテリ（－）ケーブルを切離す。
2. 運転席側エア・バッグ・モジュールを取外す。（参照：SRSエア・バッグ・システム、運転席側エア・バッグ・モジュール取外し／取付け）
3. ステアリング・ホイールを取外す。（参照：セクションN、エンジン回転数感応型パワー・ステアリング、ステアリング・ホイール アンド コラム取外し／取付け）
4. コラム・カバーを取外す。（参照：セクションS、インストルメント・パネル アンド コンソール、コラム・カバー取外し／取付け）
5. クロック・スプリングを取外す。（参照：SRSエア・バッグ・システム、クロック・スプリング取外し／取付け）
6. 図に示す手順で取外す。
7. 取外しと逆の手順で取付ける。

ライセンス・ライト取外し／取付け

1. バッテリ（－）ケーブルを切離す。
2. 図に示す手順で取外す。
3. 取外しと逆の手順で取付ける。

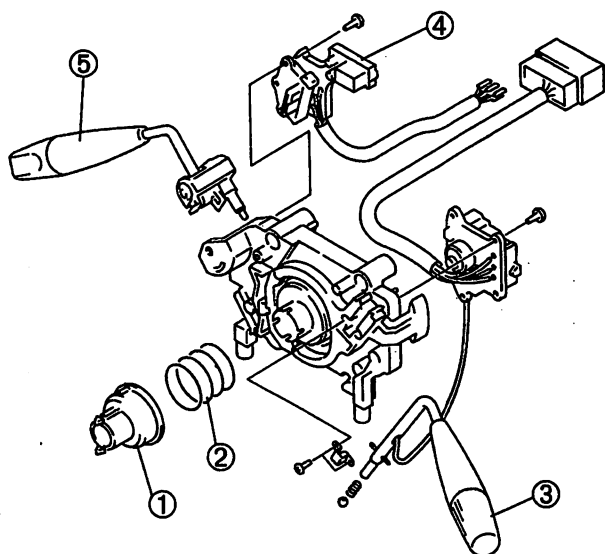
エクステリア・ライティング・システム



1	コネクタ
2	スクリュー
3	コンビネーション・スイッチ

コンビネーション・スイッチ分解／組付け

- 図に示す手順で分解する。
- 分解と逆の手順で組付ける。



1	キャンセル・カム
2	スプリング
3	ライト・レバー
4	ワイパ・ユニット 組付け時の留意点
5	ワイパ・レバー

ワイパ・ユニット組付け時の留意点

- 下表に従って、ワイパ・ユニットの端子をライト・レバーのコネクタへ差し込む。

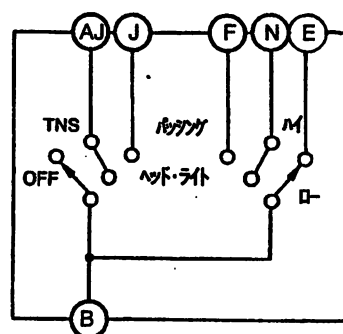
差し込む端子の線色	接続先 (ライト・レバーの コネクタの端子)
B	B
L/O	R
L	T
L/R	X
L/W	AB
L/Y	AF

コンビネーション・スイッチ点検 ヘッド・ライト・スイッチ

- コンビネーション・スイッチを取外す。(参照：コンビネーション・スイッチ取外し／取付け)
- サーキット・テストを使用して、導通状態が下表のようになることを確認する。

○—○：導通あり

スイッチ・ポジション			端子						
ライト	ディマ	パツカ	B	E	F	J	N	AJ	
OFF	—	OFF							
		ON	○		○		○		
TNS	—	OFF	○						○
		ON	○		○		○		○
ヘッド・ ライト	ロー	OFF	○	○		○			○
		ON	○		○	○	○	○	○
	ハイ	—	○			○	○	○	○



*	*	*	*	*	*	*	E	*
*	*	V	R	N	J	F	B	*
AE	*	*	*	*	*	*	*	*
AJ	AF	AB	X	T	P	L	H	*

- 表に示す通りに導通が確認できない場合は、ライト・レバーを交換する。

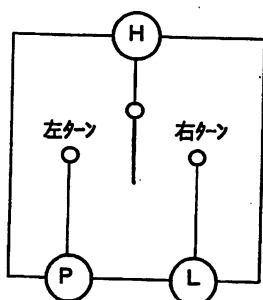
エクステリア・ライティング・システム

ターン・スイッチ

1. コンビネーション・スイッチを外す。(参照：コンビネーション・スイッチ取外し／取付け)
2. サーキット・テスタを使用して、導通状態が下表のようになることを確認する。

○—○：導通あり

スイッチ・ポジション	端子		
	H	L	P
右ターン	○—○		
OFF			
左ターン	○		○



*	*	*	*	*	*	*	*	E	*
*	*	V	R	N	J	F	B		
AE	*	*	*	*	*	*	*		
AJ	AF	AB	X	T	P	L	H	*	*

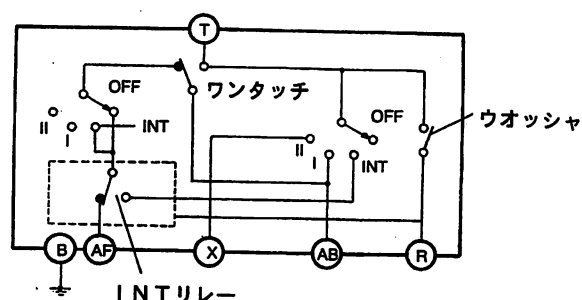
3. 表に示す通りに導通が確認できない場合は、ライト・レバーを交換する。

フロント・ワイパ アンド ウォッシャー・スイッチ

1. コンビネーション・スイッチを外す。(参照：コンビネーション・スイッチ取外し／取付け)
2. サーキット・テスタを使用して、導通状態が下表のようになることを確認する。

○—○：導通あり

スイッチ・ポジション			端子				
			R	T	X	AB	AF
ワイパ・スイッチ	ワンタッチ・スイッチ	OFF				○—○	
		ON		○		○	
	INT					○—○	
	I			○		○	
	II			○	○		
ウォッシャー・スイッチ	ON		○—○				



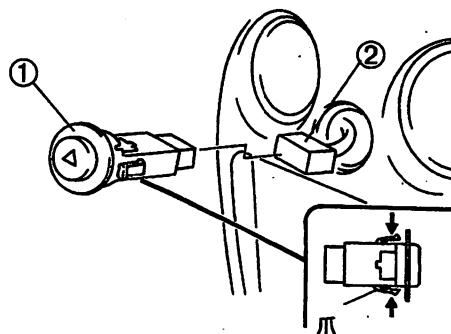
*	*	*	*	*	*	*	E	*
*	*	V	R	N	J	F	B	
AE	*	*	*	*	*	*	*	
AJ	AF	AB	X	T	P	L	H	*

3. 表に示す通りに導通が確認できない場合は、ワイパ・ユニットまたはワイパ・レバーを交換する。

ハザード・スイッチ取外し／取付け

1. バッテリ (—) ケーブルを切断す。
2. オーディオ・ユニットまたはLCDユニットを取外す。(参照：オーディオ／カー・ナビゲーション・システム、オーディオ・ユニット取外し) (参照：オーディオ／カー・ナビゲーション・システム、オーディオ・ユニット取付け) (参照：オーディオ／カー・ナビゲーション・システム、LCDユニット取外し) (参照：オーディオ／カー・ナビゲーション・システム、LCDユニット取付け)

3. 図に示す手順で取外す。
4. 取外しと逆の手順で取付ける。



1	ハザード・スイッチ ☞ 取外し時の留意点
2	コネクタ

エクステリア・ライティング・システム

ハザード・スイッチ取外し時の留意点

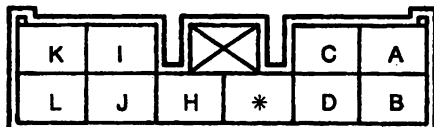
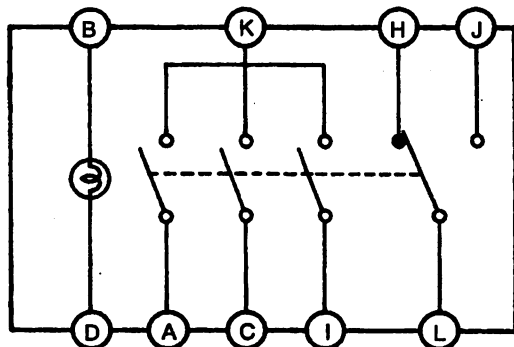
1. センタ・パネルの開口部から手を入れ、ハザード・スイッチの爪を外す。
2. 手前に押し出し、ハザード・スイッチを取外す。

ハザード・スイッチ点検

1. ハザード・スイッチを取外す。(参照：ハザード・スイッチ取外し／取付け)
2. サーキット・テストを使用して、導通状態が下表のようになることを確認する。

○—○：導通あり ○~~●~~○：バルブ

スイッチ・ ポジション	端子								
	H	J	L	A	C	I	K	B	D
OFF	○	—	○					○ ● ○	○ ● ○
ON		○	○	○	○	○	○	○ ● ○	○ ● ○

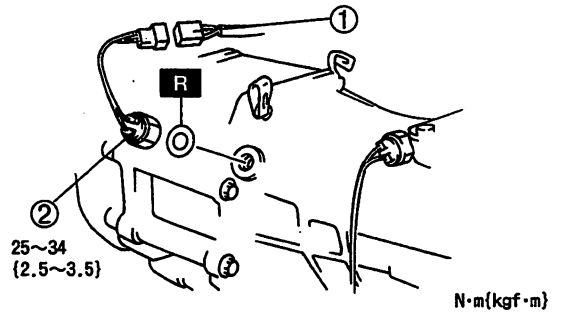


3. 表に示す通りに導通が確認できない場合は、ハザード・スイッチを交換する。

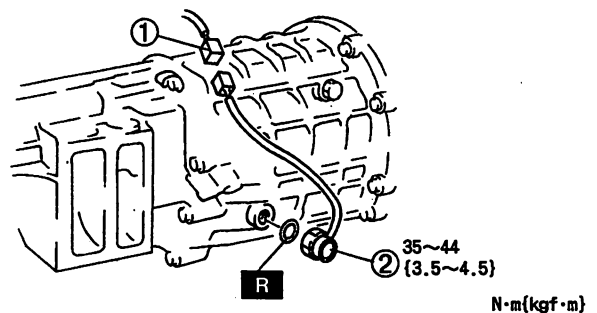
バック・アップ・ライト・スイッチ取外し／取付け

1. バッテリー（－）ケーブルを切離す。
2. 図に示す手順で取外す。
3. 取外しと逆の手順で取付ける。

M15M-D型トランスミッション



Y16M-D型トランスミッション



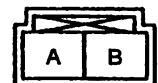
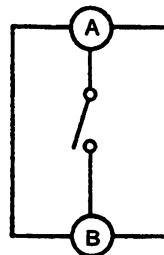
1	コネクタ
2	バック・アップ・ライト・スイッチ

バック・アップ・ライト・スイッチ点検

1. バック・アップ・ライト・スイッチ・コネクタを切離す。
2. サーキット・テストを使用して、導通状態が下表のようになることを確認する。

○—○：導通あり

シフト・レバー・ポジション	端子	
	A	B
リバース	○—○	○—○
その他		

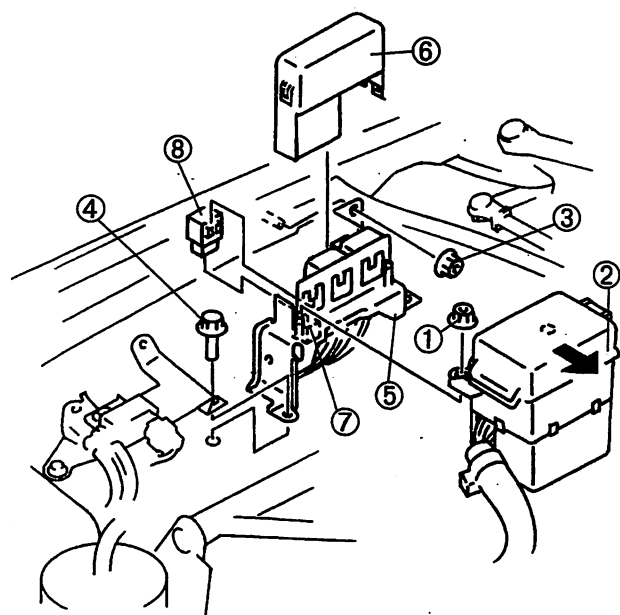


3. 表に示す通りに導通が確認できない場合は、バック・アップ・ライト・スイッチを交換する。

ヘッド・ライト・リレー取外し／取付け

1. バッテリー（－）ケーブルを切離す。
2. 図に示す手順で取外す。
3. 取外しと逆の手順で取付ける。

エクステリア・ライティング・システム



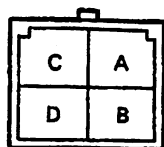
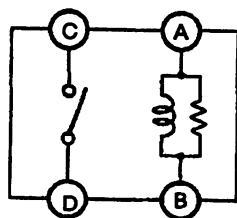
1	ナット
2	メイン・フューズ・ブロック
3	ナット
4	ボルト
5	ブラケット
6	リレー・ボックス・カバー
7	コネクタ
8	ヘッド・ライト・リレー

ヘッド・ライト・リレー点検

1. ヘッド・ライト・リレーを取外す。
2. サーキット・テスタを使用して、導通状態が下表のようになることを確認する。

○—○：導通あり V_B ：バッテリー電圧

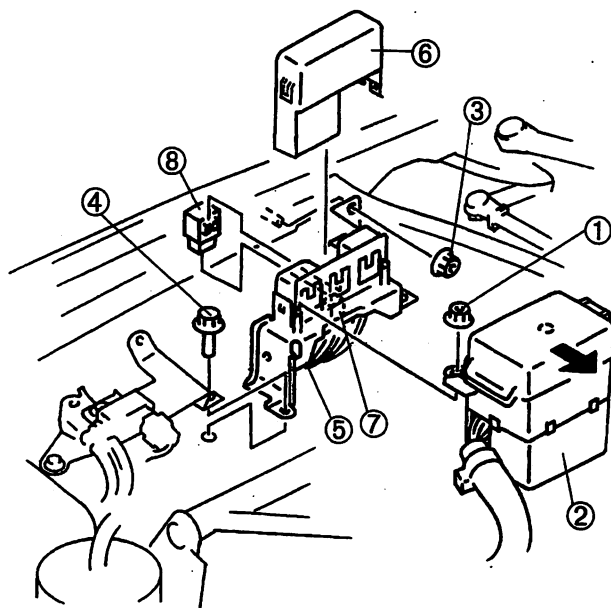
ステップ	端子			
	A	B	C	D
1	○—○	○—○		
2	V_B	アース	○—○	○—○



3. 表に示す通りに導通が確認できない場合は、ヘッド・ライト・リレーを交換する。

TNSリレー取外し／取付け

1. バッテリー（－）ケーブルを切離す。
2. 図に示す手順で取外す。
3. 取外しと逆の手順で取付ける。



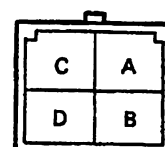
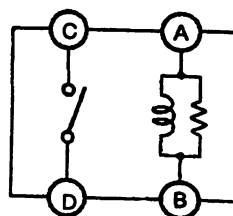
1	ナット
2	メイン・フューズ・ブロック
3	ナット
4	ボルト
5	ブラケット
6	リレー・ボックス・カバー
7	コネクタ
8	TNSリレー

TNSリレー点検

1. TNSリレーを取外す。
2. サーキット・テスタを使用して、導通状態が下表のようになることを確認する。

○—○：導通あり V_B ：バッテリー電圧

ステップ	端子			
	A	B	C	D
1	○—○	○—○		
2	V_B	アース	○—○	○—○



エクステリア・ライティング・システム

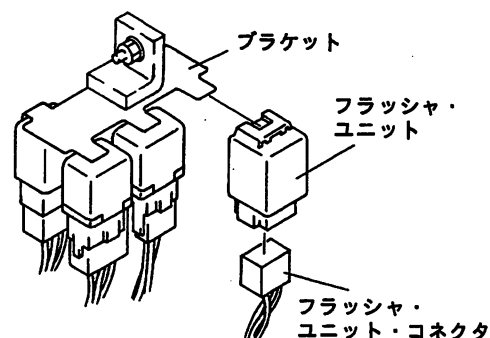
3. 表に示す通りに導通が確認できない場合は、TNSリレーを交換する。

4. フラッシュャ・ユニット・コネクタを切離す。
5. フラッシュャ・ユニットの上端のロック部を（－）ドライバで軽くこじてブラケットから取外す。

フラッシュャ・ユニット取外し／取付け

参考

- ユニットのロック部が破損しやすい構造のため、交換の必要がある場合以外は、ブラケットからフラッシュャ・ユニットを取外さない。取外す前に必ずフラッシュャ・ユニット点検を行う。



1. バッテリ（－）ケーブルを切離す。
2. ロア・パネルを取外す。
3. ブラケットを取外す。

6. 取外しと逆の手順で取付ける。

フラッシュャ・ユニット点検

1. ブラケットを取外し、手前に引き出す。（参照：フラッシュャ・ユニット取外し／取付け）
2. サーキット・テストを使用して、測定条件時における各端子の電圧値を測定する。
3. B端子の導通点検を行う場合は、コネクタを切離してから行う。
4. 測定端子電圧値が端子電圧一覧表の電圧値と異なる場合は、「異常時の点検箇所」および関連ハーネスを点検する。
5. 「異常時の点検箇所」および関連ハーネスが正常であるにもかかわらずシステムが正常に作動しない場合は、フラッシュャ・ユニットを交換する。

端子電圧一覧表（参考値）

V_B : バッテリ電圧

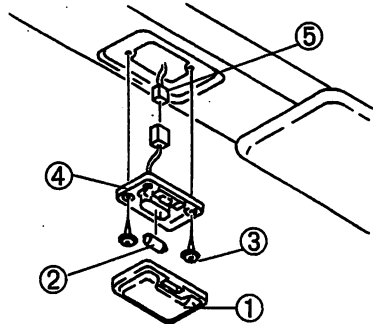
A C B						
端子	信号名	接続先	測定条件		電圧値(V) ／導通状態	異常時の点検箇所
A	フラッシュャ・ ユニット出力	ハザード・ スイッチ	ハザード・スイッチON		0↔V _B	● ハザード・スイッ チ ● ターン・ライト
			ハザード・ スイッチOFF	イグニッション・スイッ チがONの位置	V _B	
				イグニッション・スイッ チがLOCKまたはAC Cの位置	0	
B	GND	ボデー・ アース	常時：アースとの導通点検		導通あり	GND
C	電源	ハザード・ スイッチ	ハザード・スイッチON		V _B	● HAZARD 15 A フューズ ● TURN 10 A フューズ ● ハザード・スイッ チ
			ハザード・スイッ チOFF	イグニッション・スイッ チがONの位置	V _B	
				イグニッション・スイッ チがLOCKまたはAC Cの位置	0	

インテリア・ライティング・システム

インテリア・ライティング・システム

ルーム・ライト取外し／取付け

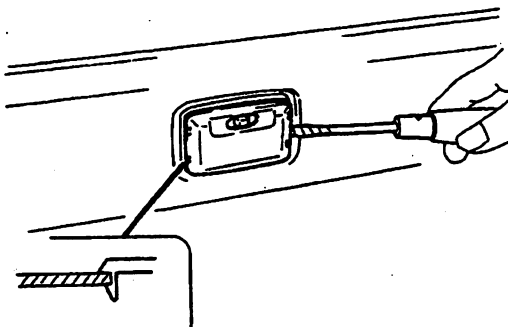
1. バッテリ（－）ケーブルを切離す。
2. 図に示す手順で取外す。
3. 取外しと逆の手順で取付ける。



1	レンズ ☞ 取外し時の留意点
2	バルブ
3	スクリュ
4	ハウジング
5	コネクタ

レンズ取外し時の留意点

1. 保護テープを巻いた（－）ドライバを、レンズとハウジングの間に差し込む。
2. （－）ドライバをこじて、レンズを取外す。

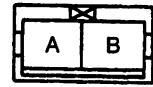
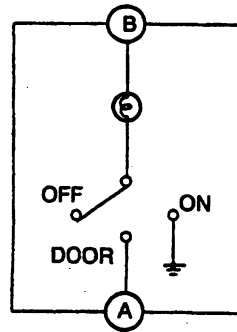


ルーム・ライト点検

1. ルーム・ライトを取外す。（参照：ルーム・ライト取外し／取付け）
2. サーキット・テスタを使用して、導通状態が下表のようになることを確認する。

○—○ : バルブ

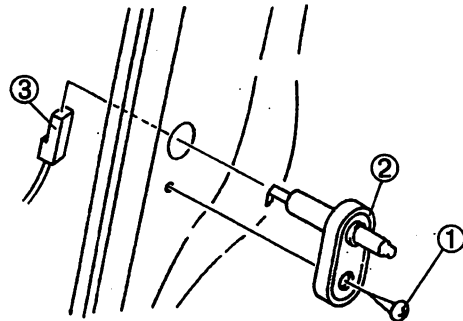
スイッチ・ポジション	端子		
	A	B	ボデー・アース
ON		○—○	
DOOR	○—○		
OFF			



3. 表に示す通りに導通が確認できない場合は、ルーム・ライトを交換する。

ドア・スイッチ取外し／取付け

1. バッテリ（－）ケーブルを切離す。
2. 図に示す手順で取外す。
3. 取外しと逆の手順で取付ける。



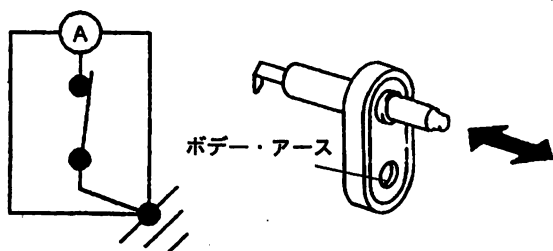
1	スクリュ
2	ドア・スイッチ
3	コネクタ

ドア・スイッチ点検

1. ドア・スイッチを取外す。
2. サーキット・テスタを使用して、導通状態が下表のようになることを確認する。

○—○ : 導通あり

測定条件	端 子	
	A	ボデー・アース
ドア・スイッチを押したとき		
ドア・スイッチを押していないとき	○—○	○—○

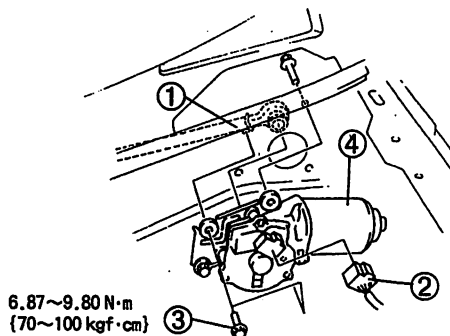


3. 表に示す通りに導通が確認できない場合は、ドア・スイッチを交換する。

ワイパ アンド ウォッシャ

フロント・ワイパ・モータ取外し／取付け

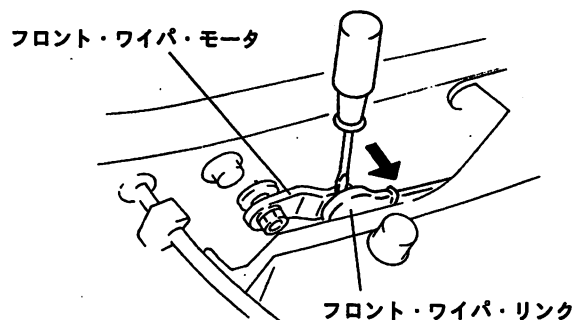
1. バッテリ（－）ケーブルを切離す。
2. 図に示す手順で取外す。
3. 取外しと逆の手順で取付ける。



1	フロント・ワイパ・リンク ☞ 取外し時の留意点
2	コネクタ
3	ボルト
4	フロント・ワイパ・モータ

フロント・ワイパ・リンク取外し時の留意点

- （－）ドライバをフロント・ワイパ・モータとの接続部へ挿入し、矢印の方に押しながらひねる。

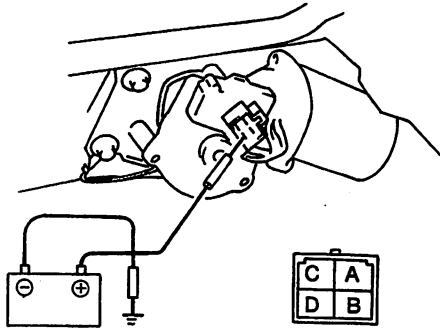


フロント・ワイパ・モータ点検

1. フロント・ワイパ・モータ・コネクタを切離す。
2. フロント・ワイパ・モータの各端子にバッテリー電圧を接続したとき、フロント・ワイパ・モータの作動状態が下表のようになることを確認する。

バッテリー電圧を 接続する端子	フロント・ワイパ・モータ の作動
A	ハイ・スピード
C	ロー・スピード

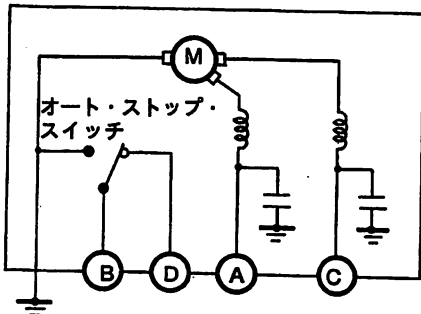
ワイパ アンド ウオッシャ



3. フロント・ワイパ・モータ・コネクタを接続する。
4. イグニッション・スイッチをONの位置にする。
5. フロント・ワイパ・スイッチをONにして、フロント・ワイパを作動させる。
6. フロント・ワイパ作動中にイグニッション・スイッチをLOCKの位置にして、フロント・ワイパをオート・ストップ以外の状態で停止させる。
7. フロント・ワイパ・モータ・コネクタを切離す。
8. サーキット・テスタを使用して、導通状態が下表のようになることを確認する。

○—○：導通あり

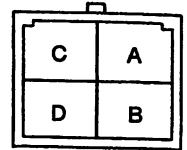
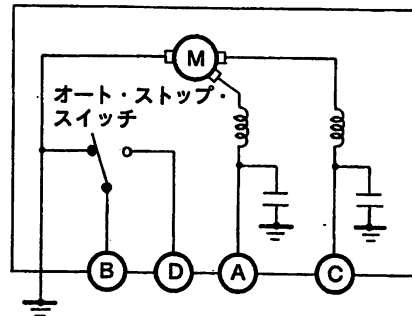
フロント・ワイパの 停止位置	端 子				
	A	B	C	D	グ-ア-ス
オート・ストップの 位置以外	○—	○—	○—	○—	○—



9. フロント・ワイパ・モータ・コネクタを接続する。
10. イグニッション・スイッチをONの位置にする。
11. フロント・ワイパ・スイッチをONにして、フロント・ワイパを作動させる。
12. フロント・ワイパ作動中にフロント・ワイパ・スイッチをOFFにして、フロント・ワイパをオート・ストップの状態に停止させる。
13. フロント・ワイパ・モータ・コネクタを切離す。
14. サーキット・テスタを使用して、導通状態が下表のようになることを確認する。

○—○：導通あり

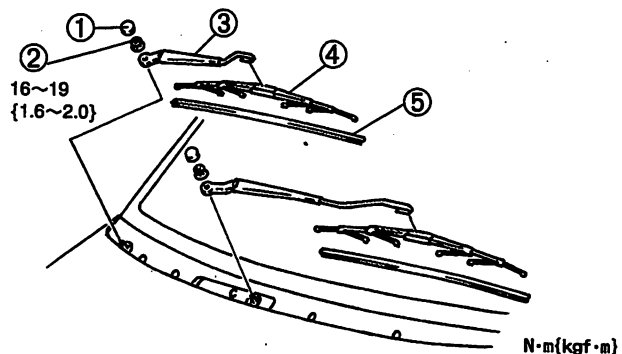
フロント・ワイパの 停止位置	端 子			
	A	B	C	グ-ア-ス
オート・ストップの 位置	○—	○—	○—	○—



15. 不具合がある場合は、フロント・ワイパ・モータを交換する。

フロント・ワイパ・アーム アンド ブレード 取外し／取付け

1. 図に示す手順で取外す。
2. 取外しと逆の手順で取付ける。
3. フロント・ワイパの拭き取り範囲を調整する。(参照：フロント・ワイパ・アーム アンド ブレード調整)

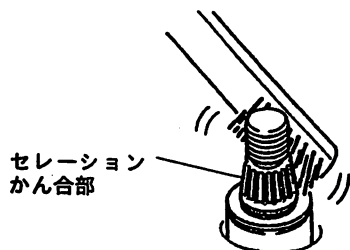


1	キャップ
2	ナット
3	フロント・ワイパ・アーム 取外し時の留意点
4	フロント・ワイパ・ブレード
5	ラバー・ブラシ

フロント・ワイパ・アーム取付け時の留意点

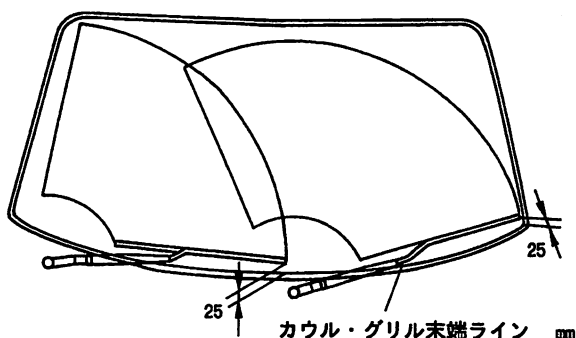
- ワイヤ・ブラシ等を使用して、セレーションかん合部を清掃してからフロント・ワイパ・アームを取付ける。

ワイパ アンド ウオッシャ



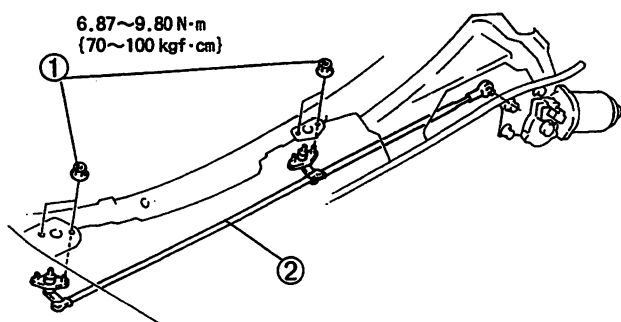
フロント・ワイパ・アーム アンド ブレード調整

1. フロント・ワイパ作動中にフロント・ワイパ・スイッチをOFFにして、フロント・ワイパをオート・ストップの状態に停止させる。
2. セレーションかん合部の位置をずらして、フロント・ワイパ・ブレードを図に示す位置に調整する。



フロント・ワイパ・リンク取外し/取付け

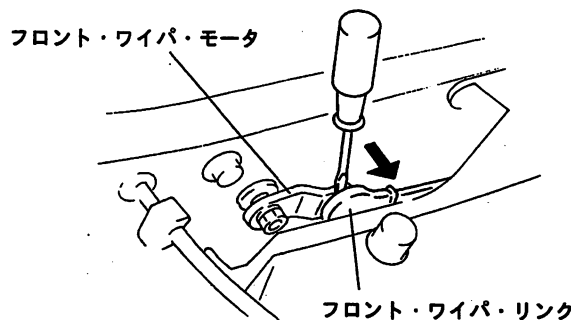
1. フロント・ワイパ・アーム アンド ブレードを取外す。(参照：フロント・ワイパ・アーム アンド ブレード取外し/取付け)
2. カウル・グリルを取外す。(参照：セクションS、エクステリア・アタッチメント、カウル・グリル取外し/取付け)
3. 図に示す手順で取外す。
4. 取外しと逆の手順で取付ける。
5. フロント・ワイパの拭き取り範囲を調整する。(参照：フロント・ワイパ・アーム アンド ブレード調整)



1	ナット
2	フロント・ワイパ・リンク
☞ 取外し時の留意点	

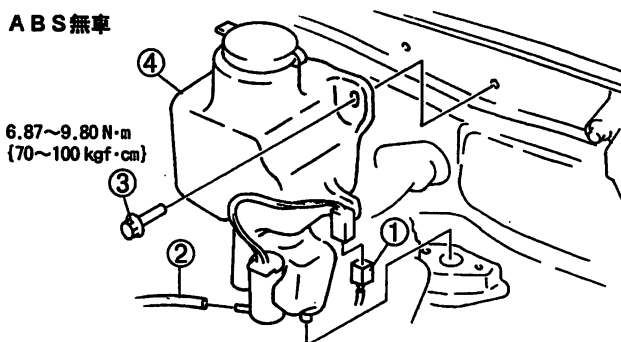
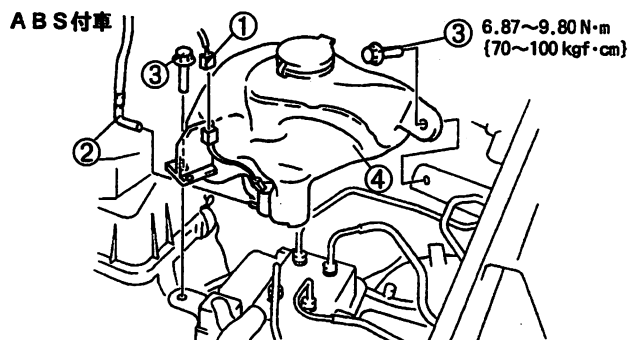
フロント・ワイパ・リンク取外し時の留意点

- (一) ドライバをフロント・ワイパ・モータとの接続部へ挿入し、矢印の方に押しながらひねる。



フロント・ウオッシャ・タンク取外し/取付け

1. バッテリ (一) ケーブルを切離す。
2. 図に示す手順で取外す。
3. 取外しと逆の手順で取付ける。

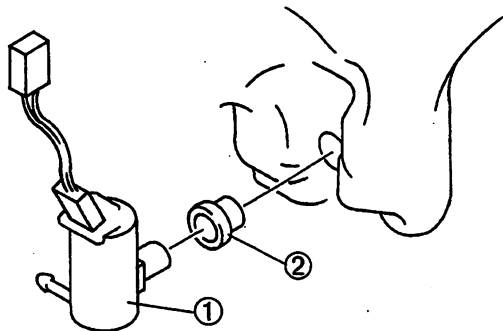


1	コネクタ
2	フロント・ウオッシャ・パイプ
3	ボルト
4	フロント・ウオッシャ・タンク

フロント・ウオッシャ・モータ取外し/取付け

1. バッテリ (一) ケーブルを切離す。
2. フロント・ウオッシャ・タンクを取外す。
3. 図に示す手順で取外す。

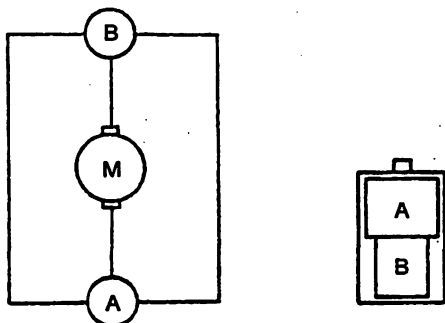
4. 取外しと逆の手順で取付ける。



1	フロント・ウオッシャ・モータ
2	グロメット

フロント・ウオッシャ・モータ点検

1. フロント・ウオッシャ・モータ・コネクタを切離す。
2. A端子にバッテリー電圧、B端子にアースを接続したとき、フロント・ウオッシャ・モータが正常に作動することを確認する。

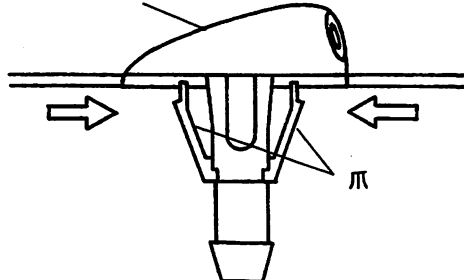


3. 不具合がある場合は、フロント・ウオッシャ・モータを交換する。

フロント・ウオッシャ・ノズル取外し

1. フロント・ウオッシャ・パイプをフロント・ウオッシャ・ノズルから切離す。
2. 爪を外して、フロント・ウオッシャ・ノズルを取外す。

フロント・ウオッシャ・ノズル

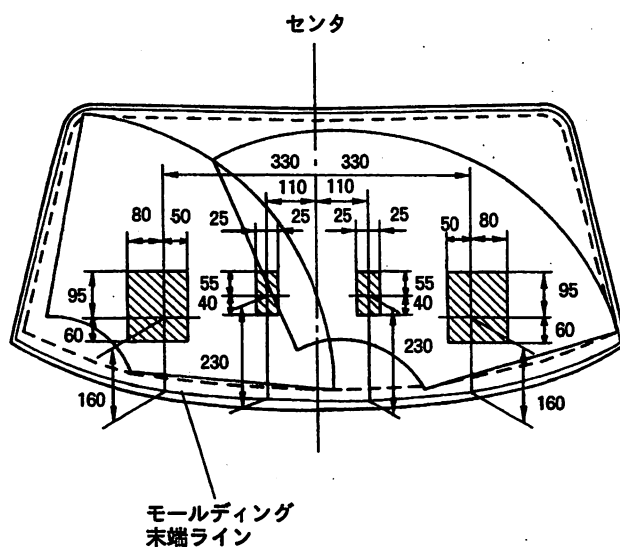


フロント・ウオッシャ・ノズル取付け

1. フロント・ウオッシャ・パイプをフロント・ウオッシャ・ノズルに接続する。
2. フロント・ウオッシャ・ノズルを取付け穴に押し込み、取付ける。
3. フロント・ウオッシャ・ノズルの噴射範囲を調整する。(参照：フロント・ウオッシャ・ノズル調整)

フロント・ウオッシャ・ノズル調整

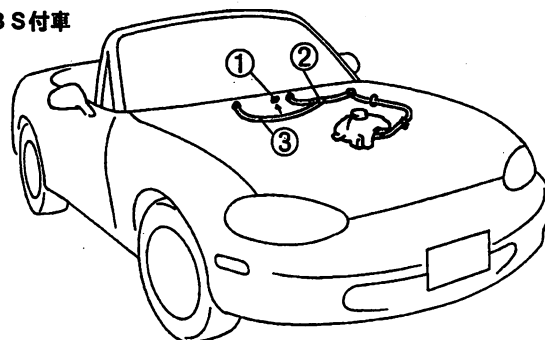
- フロント・ウオッシャ・ノズルの噴出口に針または先の細い金具を差し込み、ウオッシャ液の着水範囲を図に示す位置に調整する。



フロント・ウオッシャ・パイプ取外し/取付け

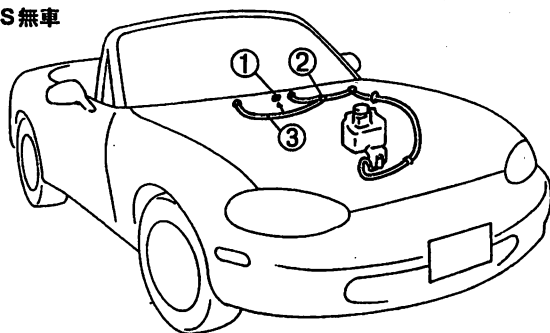
1. 図に示す手順で取外す。
2. 取外しと逆の手順で取付ける。

ABS付車



ワイパ アンド ウォッシャ、警告、表示装置

ABS無車

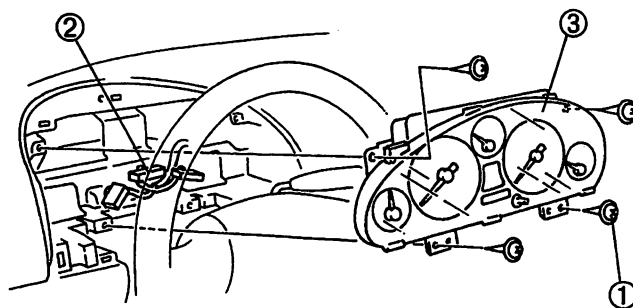


1	クリップ
2	ジョイント・パイプ
3	フロント・ウォッシャ・パイプ

警告、表示装置

コンビネーション・メータ取外し／取付け

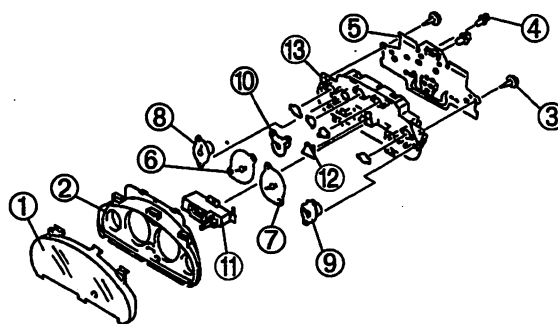
1. バッテリ（-）ケーブルを切離す。
2. メータ・フードを取外す。（参照：セクションS、インストルメント・パネル アンド コンソール、メータ・フード取外し／取付け）
3. 図に示す手順で取外す。
4. 取外しと逆の手順で取付ける。



1	スクリュ
2	コネクタ
3	コンビネーション・メータ

コンビネーション・メータ分解／組付け

1. 図に示す手順で分解する。
2. 分解と逆の手順で組付ける。



1	レンズ
2	メータ・ハウジング
3	スクリュ
4	バルブ
5	プリント・プレート
6	タコ・メータ
7	スピード・メータ
8	フューエル・ゲージ
9	水温ゲージ
10	オイル・プレッシャ・ゲージ
11	オド/トリップ・メータ
12	ワーニング・プレート
13	ケース

警告、表示装置

コンビネーション・メータ点検

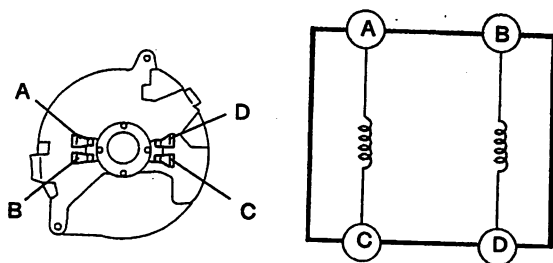
スピード・メータ

1. スピード・メータを取外す。(参照：コンビネーション・メータ分解／組付け)
2. サーキット・テスタを使用して、抵抗値が下表のようになることを確認する。

○ ω ○：抵抗

測定条件	端子			
	A	B	C	D
常時	○	○ ω ○	○ R ₁	
		○	○ ω ○	○ R ₂

R₁ : 136~184 Ω R₂ : 136~184 Ω



3. 表に示す通りに抵抗値が確認できない場合は、スピード・メータを交換する。

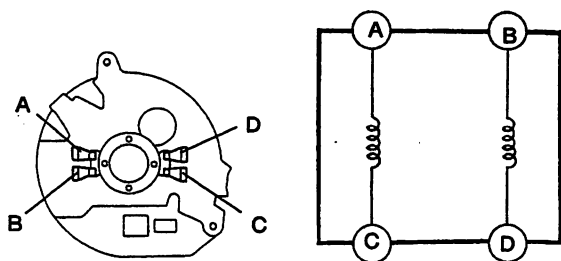
タコ・メータ

1. タコ・メータを取外す。(参照：コンビネーション・メータ分解／組付け)
2. サーキット・テスタを使用して、抵抗値が下表のようになることを確認する。

○ ω ○：抵抗

測定条件	端子			
	A	B	C	D
常時	○	○ ω ○	○ R ₁	
		○	○ ω ○	○ R ₂

R₁ : 136~184 Ω R₂ : 136~184 Ω



3. 表に示す通りに抵抗値が確認できない場合は、タコ・メータを交換する。

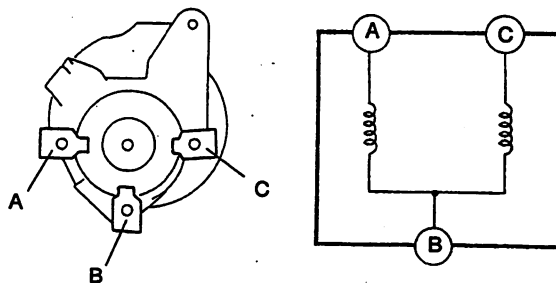
フューエル・ゲージ

1. フューエル・ゲージを取外す。(参照：コンビネーション・メータ分解／組付け)
2. サーキット・テスタを使用して、抵抗値が下表のようになることを確認する。

○ ω ○：抵抗

測定条件	端子		
	A	B	C
常時	○	○ ω ○ R ₁	
		○	○ ω ○ R ₂

R₁ : 110.7~135.3 Ω R₂ : 89.1~108.9 Ω



3. 表に示す通りに抵抗値が確認できない場合は、フューエル・ゲージを交換する。

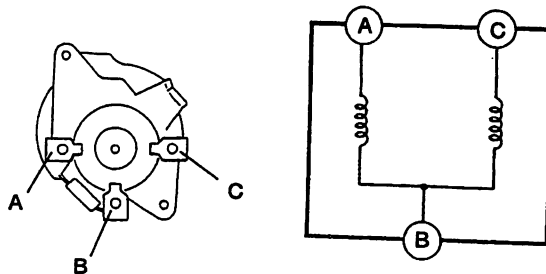
水温ゲージ

1. 水温ゲージを取外す。(参照：コンビネーション・メータ分解／組付け)
2. サーキット・テスタを使用して、抵抗値が下表のようになることを確認する。

○ ω ○：抵抗

測定条件	端子		
	A	B	C
常時	○	○ ω ○ R ₁	
		○	○ ω ○ R ₂

R₁ : 85.5~94.5 Ω R₂ : 247.5~302.5 Ω



3. 表に示す通りに抵抗値が確認できない場合は、水温ゲージを交換する。

警告、表示装置

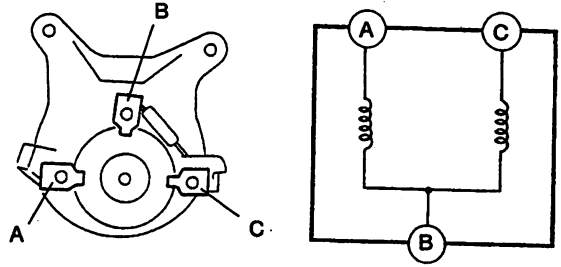
オイル・プレッシャ・ゲージ

1. オイル・プレッシャ・ゲージを取外す。(参照：コンビネーション・メータ分解／組付け)
2. サーキット・テスタを使用して、抵抗値が下表のようになることを確認する。

○○ : 抵抗

測定条件	端子		
	A	B	C
常時	○  ○	○  ○ R ₁	○  ○ R ₂

R₁ : 89.1~108.9 Ω R₂ : 139.5~170.5 Ω



3. 表に示す通りに抵抗値が確認できない場合は、オイル・プレッシャ・ゲージを交換する。

コンビネーション・メータの入出力チェック・モード

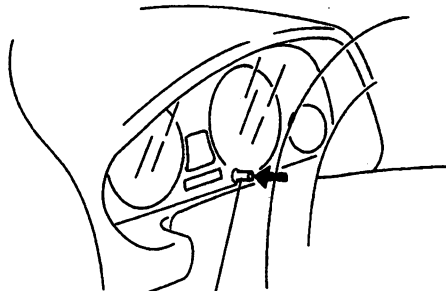
- 入出力チェック・モードでは、以下のチェック・コード一覧表に示す部品の作動確認ができる。

チェック・コード一覧表

チェック・コード	チェック部品	関連システム
00	インヒビタ・スイッチ (Rレンジ)	Rレンジ・ワーニング・アラーム
04	ドア・スイッチ	• ルーム・ライト • ライト消し忘れワーニング・アラーム • キー抜き忘れワーニング・アラーム
05	未使用	—
08	TNSリレー	• ライト消し忘れワーニング・アラーム • 各種イルミネーション・ライト
14	ブザー	• ライト消し忘れワーニング・アラーム • キー抜き忘れワーニング・アラーム • Rレンジ・ワーニング・アラーム • シート・ベルト・ワーニング・アラーム
31	キーレス・スイッチ	キー抜き忘れワーニング・アラーム

開始手順

1. 全てのドアを閉じる。
2. バッテリ (－) ケーブルを切離し、30秒以上待つ。
3. 運転席のドアを開ける。
4. バッテリ (－) ケーブルを接続する。
5. 以下の手順を30秒以内に行い、入力チェック・モードに移行する。
 - (1) イグニッション・スイッチをONの位置にする。
 - (2) ドア・スイッチを3回押す。
 - (3) オド／トリップ・メータ・スイッチを3回押す。



オド／トリップ・メータ・スイッチ

警告、表示装置

チェック手順

参考

- チェック・コードは番号順でしか表示できない。(表示中のチェック・コードより小さい番号のチェック・コードを表示させたい場合は、入出力チェック・モード終了させ、再度開始手順から行う。)

チェック・コード00～14

参考

- オド／トリップ・メータ・スイッチを1秒以上押し続けると、チェック・コードを早送りできる。
- チェック・コード00は、入出力チェック・モードに移行した時点で表示される。

1. オド／トリップ・メータ・スイッチを押し、チェック・コードを選択する。
2. チェック・コード別点検表に従い、部品をチェックする。

チェック・コード31

1. イグニッション・スイッチをLOCKまたはACCの位置にする。
2. オド／トリップ・メータ・スイッチを押し、チェック・コードを選択する。
3. チェック・コード別点検表に従い、部品をチェックする。

終了手順

- イグニッション・スイッチをLOCKの位置にした後、ONの位置に戻す。

参考

- 入出力チェック・モードに移行してから45分経過すると、入出力チェック・モードは自動的に終了する。

チェック・コード別点検表

チェック・コード00		インヒビタ・スイッチ (Rレンジ) ON/OFF信号	
ステップ	点検条件	表示	処置
1	セレクト・レバーをRレンジにシフトする。	ON	次のステップに進む。
		OFF	以下の部品を点検する。 • インヒビタ・スイッチ • METER15 Aフューズ～インヒビタ・スイッチ～コンビネーション・メータ間のハーネス
2	セレクト・レバーをRレンジ以外にシフトする。	ON	以下の部品を点検する。 • インヒビタ・スイッチ • インヒビタ・スイッチ～コンビネーション・メータ間のハーネス
		OFF	コンビネーション・メータへの入力信号は正常。

チェック・コード04		ドア・スイッチON/OFF信号	
ステップ	点検条件	表示	処置
1	運転席のドアを開ける。(ドア・スイッチON)	ON	運転席のドアを閉じ、次のステップに進む。
		OFF	以下の部品を点検する。 • ドア・スイッチ • ドア・スイッチ～コンビネーション・メータ間のハーネス

警告、表示装置

ステップ	点検条件	表示	処置
2	助手席のドアを開ける。(ドア・スイッチON)	ON	助手席のドアを閉じ、次のステップに進む。
		OFF	以下の部品を点検する。 ・ドア・スイッチ ・ドア・スイッチ～コンビネーション・メータ間のハーネス
3	すべてのドアを閉じる。(ドア・スイッチOFF)	ON	以下の部品を点検する。 ・ドア・スイッチ ・ドア・スイッチ～コンビネーション・メータ間のハーネス
		OFF	コンビネーション・メータへの入力信号は正常。

チェック・コード08		TNSリレーON/OFF信号	
ステップ	点検条件	表示	処置
1	ヘッド・ライト・スイッチをTNSまたはONの位置にする。(TNSリレーON)	ON	次のステップに進む。
		OFF	以下の部品を点検する。 ・TNSリレー ・TAIL15フューズ～TNSリレー～コンビネーション・メータ間のハーネス
2	ヘッド・ライト・スイッチをOFFの位置にする。(TNSリレーOFF)	ON	以下の部品を点検する。 ・TNSリレー ・TNSリレー～コンビネーション・メータ間のハーネス
		OFF	コンビネーション・メータへの入力信号は正常。

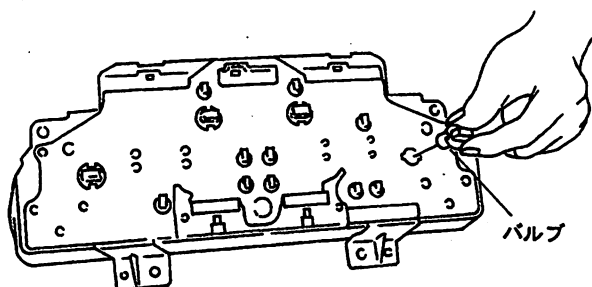
チェック・コード14		ブザー作動信号	
点検条件		作動	処置
チェック・コード14を選択後、約2秒経過。		ブザーが吹鳴する。	ブザーの作動は正常。
		ブザーが吹鳴しない。	オド/トリップ・メータを交換する。

チェック・コード31		キーレス・スイッチON/OFF信号	
ステップ	点検条件	表示	処置
1	キーをキー・シリンダに挿す。	ON	次のステップに進む。
		OFF	以下の部品を点検する。 ・キーレス・スイッチ ・ROOM10 Aフューズ～キーレス・スイッチ～コンビネーション・メータ間のハーネス
2	キーをキー・シリンダから抜く。	ON	以下の部品を点検する。 ・キーレス・スイッチ ・キーレス・スイッチ～コンビネーション・メータ間のハーネス
		OFF	コンビネーション・メータへの入力信号は正常。

警告、表示装置

ワーニング アンド インジケータ・ライト バルブ交換

1. バッテリ (-) ケーブルを切離す。
2. コンビネーション・メータを取外す。(参照：コンビネーション・メータ取外し／取付け)
3. ソケットを反時計回りに回して、バルブを取外す。

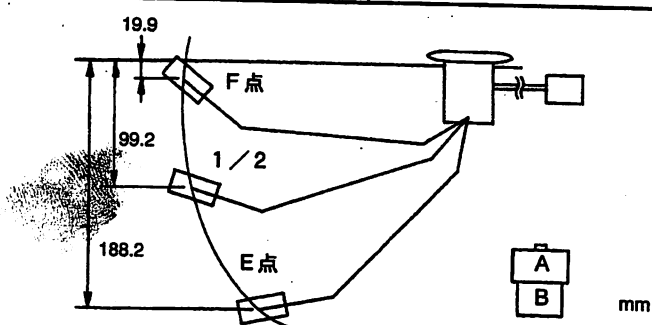


4. 取外しと逆の手順で取付ける。

フューエル・タンク・ゲージ・ユニット点検

1. フューエル・タンク・ゲージ・ユニットを取外す。(参照：セクションF、燃料装置系統、フューエル・ポンプ取外し／取付け)
2. サーキット・テスタを使用して、フューエル・タンク・ゲージ・ユニットのA、B端子間の抵抗値が下表のようになることを確認する。

フロートの位置	抵抗値 (Ω)
F	7
1/2	32.5
E	95



3. 表に示す通りに抵抗値が確認できない場合は、フューエル・タンク・ゲージ・ユニットを交換する。

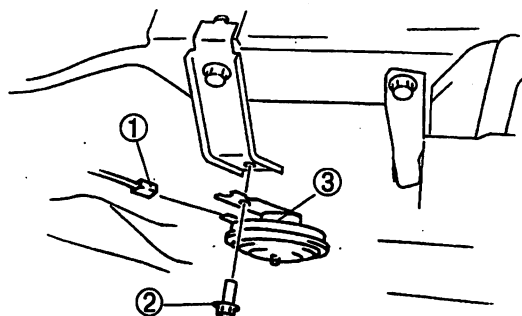
オイル・プレッシャ・スイッチ点検

1. エンジンを始動したとき、オイル・プレッシャ・ゲージの指針がH方向に動くことを確認する。
2. イグニッション・スイッチをLOCKの位置にしたとき、オイル・プレッシャ・ゲージの指針がLを指すことを確認する。

3. オイル・プレッシャ・ゲージが正常に作動しない場合は、オイル・プレッシャ・ゲージおよび関連ハーネスを点検する。
4. オイル・プレッシャ・ゲージおよび関連ハーネスが正常な場合は、オイル・プレッシャを点検する。(参照：セクションD、オイル・プレッシャ点検)
5. オイル・プレッシャが正常な場合は、オイル・プレッシャ・スイッチを交換する。

ホーン取外し／取付け

1. バッテリ (-) ケーブルを切離す。
2. アッパ・シール・ボードを取外す。
3. 図に示す手順で取外す。
4. 取外しと逆の手順で取付ける。



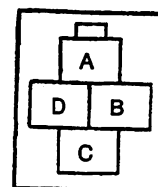
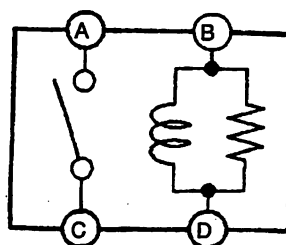
1	コネクタ
2	ボルト
3	ホーン

ホーン・リレー点検

1. ホーン・リレーを取外す。
2. サーキット・テスタを使用して、導通状態が下表のようになることを確認する。

○—○：導通あり V_B ：バッテリー電圧

ステップ	端子			
	B	D	A	C
1	○—○	○—○		
2	V_B	アース	○—○	○—○



3. 表に示す通りに導通が確認できない場合は、ホーン・リレーを交換する。

オーディオ／カー・ナビゲーション・システム

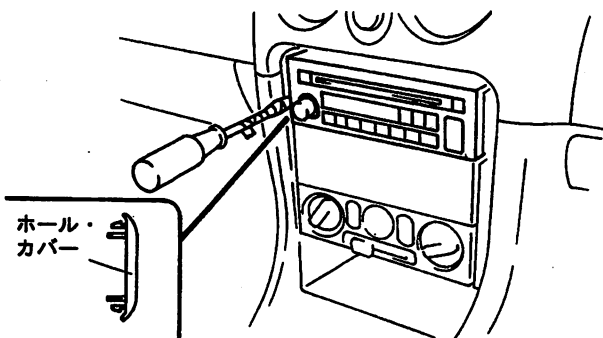
オーディオ・ユニット取外し

1. バッテリ（－）ケーブルを切離す。

注意

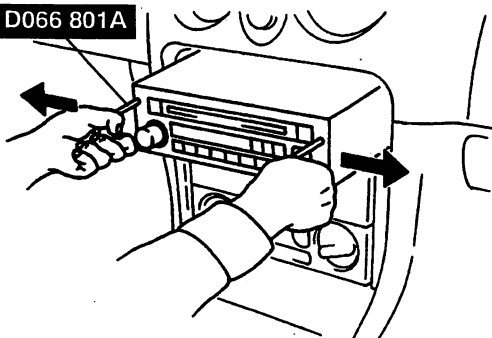
- ホール・カバーを斜めに引っ張ると、爪が折れる恐れがある。ホール・カバーは、まっすぐに引っ張り取外す。

2. 保護テープを巻いた（－）ドライバを使用して、センタ・パネルに傷を付けないようにホール・カバーを浮かせ、手前に引っ張り取外す。



3. SST（リムービング・ツール）の爪の部分を内側に向けて、サービス・ホールに差し込む。
4. SST（リムービング・ツール）を外側に広げた状態で引っ張り、オーディオ・ユニットを手前に引き出す。

49 D066 801A



5. コネクタとアンテナ・ジャックを切離し、オーディオ・ユニットを取外す。

オーディオ・ユニット取付け

1. コネクタとアンテナ・ジャックをオーディオ・ユニットに接続する。
2. ホール・カバーをオーディオ・ユニットに取付ける。

注意

- オーディオ・ユニット取付け時、インストルメント・パネルにハーネスおよびアンテナ・フィーダがかみ込まないように注意する。ハーネスおよびアンテナ・フィーダがかみ込むと不具合の原因になる。
- スイッチ部を押してオーディオ・ユニットを押し込むと、スイッチ部に無理な力が加わり作動不良の原因になる。取付け時はオーディオ・ユニットの両端を押し、スイッチ部を押さないように注意する。

3. 「カチツ」と音がするまで、オーディオ・ユニットをまっすぐ押し込む。
4. バッテリ（－）ケーブルを接続する。

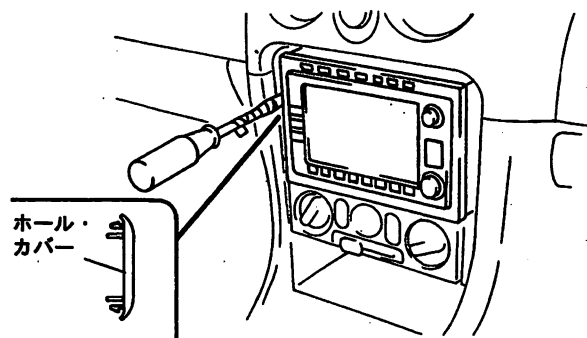
LCDユニット取外し

1. バッテリ（－）ケーブルを切離す。

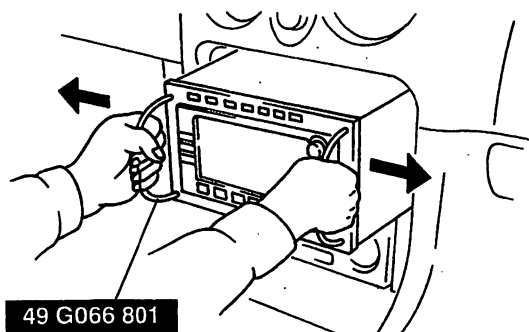
注意

- ホール・カバーを斜めに引っ張ると、爪が折れる恐れがある。ホール・カバーは、まっすぐに引っ張り取外す。

2. 保護テープを巻いた（－）ドライバを使用して、センタ・パネルに傷を付けないようにホール・カバーを浮かせ、手前に引っ張り取外す。



3. SST（リムービング・ツール）の爪の部分を内側に向けて、サービス・ホールに差し込む。
4. SST（リムービング・ツール）を外側に広げた状態で引っ張り、LCDユニットを手前に引き出す。



5. コネクタとアンテナ・ジャックを切離し、LCDユニットを取外す。

LCDユニット取付け

1. コネクタとアンテナ・ジャックをLCDユニットに接続する。
2. ホール・カバーをLCDユニットに取付ける。

注意

- LCDユニット取付け時、インストルメント・パネルにハーネスおよびアンテナ・フィーダがかみ込まないように注意する。ハーネスおよびアンテナ・フィーダがかみ込むと不具合の原因になる。
- スイッチ部を押してLCDユニットを押し込むと、スイッチ部に無理な力が加わり作動不良の原因になる。取付け時はLCDユニットの両端を押し、スイッチ部を押さないように注意する。

3. 「カチッ」と音がするまで、LCDユニットをまっすぐ押し込む。
4. バッテリー（－）ケーブルを接続する。

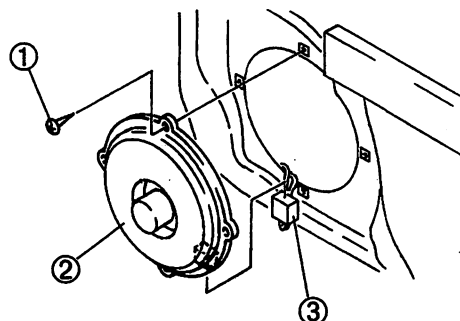
ドア・スピーカ取外し／取付け

1. バッテリー（－）ケーブルを切離す。
2. ドア・トリムを取外す。（参照：セクションS、トリム、ドア・トリム取外し／取付け）

注意

- ドア・スピーカのコーン紙に手などが触れると、音質不良の原因になる。ドア・スピーカは、フレーム部を持って取扱う。

3. 図に示す手順で取外す。
4. 取外しと逆の手順で取付ける。



1	スクリュ
2	ドア・スピーカ 取付け時の留意点
3	コネクタ

ドア・スピーカ取付け時の留意点

- ドア・スピーカ端子（コネクタ部）を下に向けて取付ける。

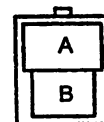
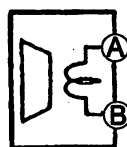
ドア・スピーカ点検

1. ドア・スピーカを取外す。（参照：ドア・スピーカ取外し／取付け）
2. サーキット・テスタを使用して、抵抗値が下表のようになることを確認する。

○W○：抵抗

測定条件	端子	
	A	B
常時	○	○ R

R : 0.5 Ω



3. サーキット・テスタのリード棒をドア・スピーカ端子に当てたり、離したりしたとき、スピーカから音が出ることを確認する。

抵抗レンジ
× 1 Ω

4. 不具合がある場合は、ドア・スピーカを交換する。

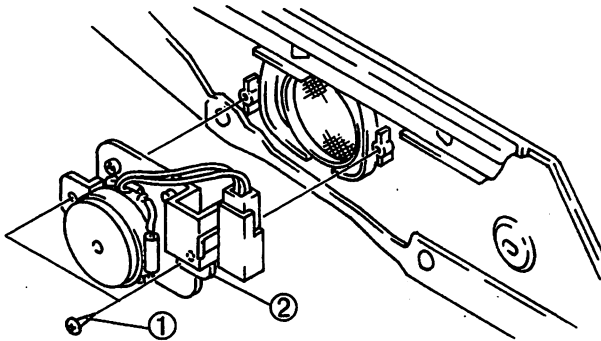
ツイータ・スピーカ取外し／取付け

1. バッテリ（－）ケーブルを切離す。
2. ドア・トリムを取外す。（参照：セクションS、トリム、ドア・トリム取外し／取付け）

注意

- ツィータ・スピーカのコーン紙に手などが触れると、音質不良の原因になる。ツイータ・スピーカは、フレーム部を持って取扱う。

3. 図に示す手順で取外す。
4. 取外しと逆の手順で取付ける。



1	スクリュ
2	ツイータ・スピーカ

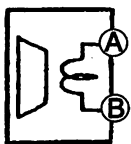
ツイータ・スピーカ点検

1. ツィータ・スピーカを取外す。（参照：ツイータ・スピーカ取外し／取付け）
2. サーキット・テスタを使用して、抵抗値が下表のようになることを確認する。

○w○ : 抵抗

測定条件	端子	
	A	B
常時	○	○ R

R : 4 Ω



3. サーキット・テスタのリード棒をツイータ・スピーカ端子に当てたり、離したりしたとき、スピーカから音が出ることを確認する。

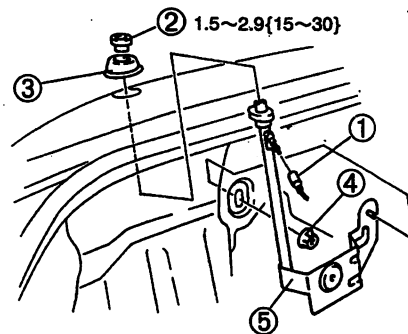
抵抗レンジ

× 1 Ω

4. 不具合がある場合は、ツイータ・スピーカを交換する。

マニュアル・アンテナ取外し／取付け

1. バッテリ（－）ケーブルを切離す。
2. トランク・サイド・トリム（助手席側）を取外す。（参照：セクションS、トリム、トランク・サイド・トリム取外し／取付け）
3. 図に示す手順で取外す。
4. 取外しと逆の手順で取付ける。

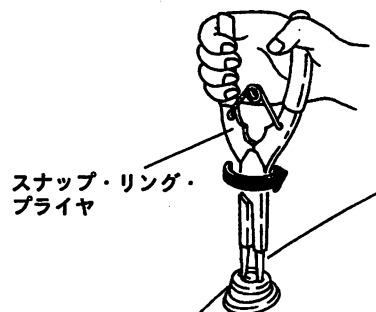


N·m{kgf·cm}

1	リヤ・アンテナ・フィーダ
2	マウンティング・ナット ※ 取外し時の留意点
3	スベーサ
4	ナット
5	マニュアル・アンテナ

マウンティング・ナット取外し時の留意点

- スナップ・リング・プライヤを使用して、マウンティング・ナットを取外す。



マニュアル・アンテナ点検

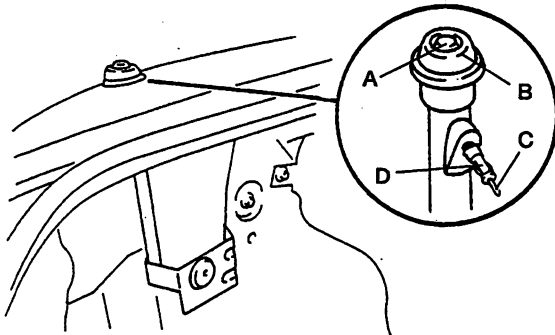
1. トランク・サイド・トリム（助手席側）を取外す。（参照：セクションS、トリム、トランク・サイド・トリム取外し／取付け）
2. リヤ・アンテナ・フィーダをマニュアル・アンテナから切離す。

オーディオ／カー・ナビゲーション・システム

3. サーキット・テスタを使用して、A端子とB端子間に導通がないことを確認する。
4. サーキット・テスタを使用して、導通状態が下表のようになることを確認する。

○—○ : 導通あり

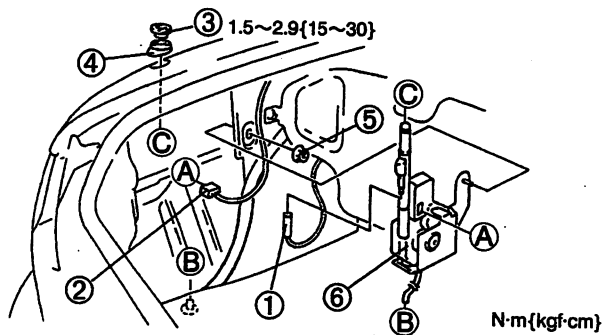
測定条件	端子			
	A	B	C	D
常時	○—	○—	○—	○—



5. 不具合がある場合は、マニュアル・アンテナを交換する。

パワー・アンテナ取外し／取付け

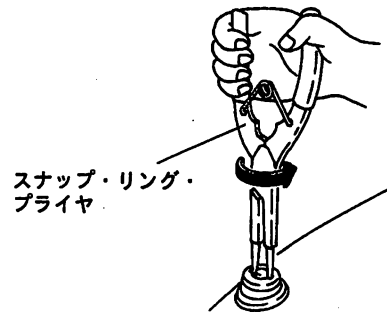
1. バッテリー (－) ケーブルを切離す。
2. トランク・サイド・トリム (助手席側) を取外す。(参照：セクションS、トリム、トランク・サイド・トリム取外し／取付け)
3. 図に示す手順で取外す。
4. 取外しと逆の手順で取付ける。



1	リヤ・アンテナ・フィーダ
2	コネクタ
3	マウンティング・ナット ※ 取外し時の留意点
4	スペーサ
5	ナット
6	パワー・アンテナ

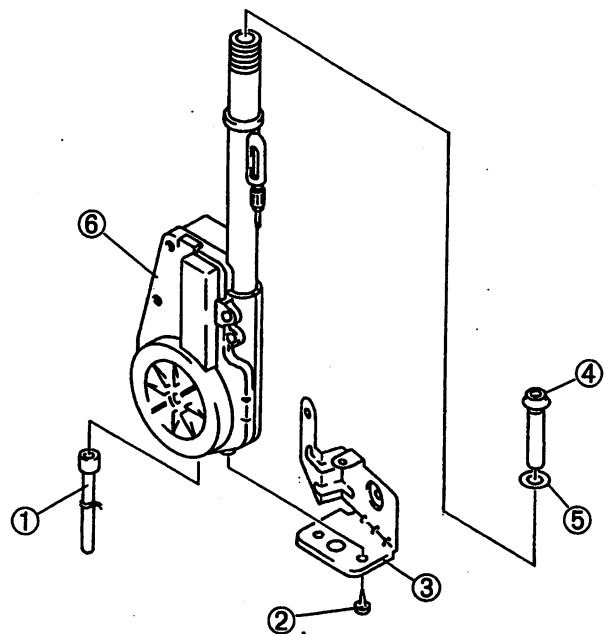
マウンティング・ナット取外し時の留意点

- スナップ・リング・プライヤを使用して、マウンティング・ナットを取外す。



パワー・アンテナ分解／組付け

1. 図に示す手順で分解する。
2. 分解と逆の手順で組付ける。



1	ドレーン・ホース
2	スクリュー
3	ブラケット
4	ロッド
5	Oリング
6	パワー・アンテナ・モータ

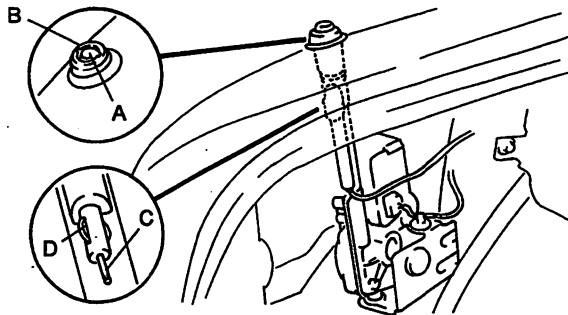
パワー・アンテナ点検

1. トランク・サイド・トリム (助手席側) を取外す。(参照：セクションS、トリム、トランク・サイド・トリム取外し／取付け)
2. パワー・アンテナからリヤ・アンテナ・フィーダを切離す。
3. サーキット・テスタを使用して、A端子とB端子間に導通がないことを確認する。
4. サーキット・テスタを使用して、導通状態が下表のようになることを確認する。

オーディオ／カー・ナビゲーション・システム

○—○：導通あり

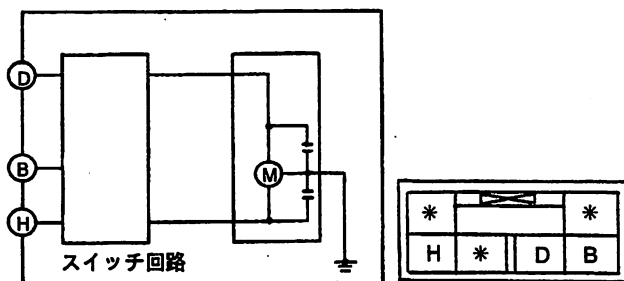
測定条件	端子			
	A	B	C	D
常時	○	○	○	○



5. パワー・アンテナ・コネクタを切離す。
6. パワー・アンテナの各端子にバッテリー電圧およびアースを接続したとき、パワー・アンテナの作動状態が下表のようになることを確認する。

V_B ：バッテリー電圧

端子				パワー・アンテナの作動
B	D	H	ボデー・アース	
V_B	—	アース	アース	下降
V_B	V_B	アース	アース	上昇



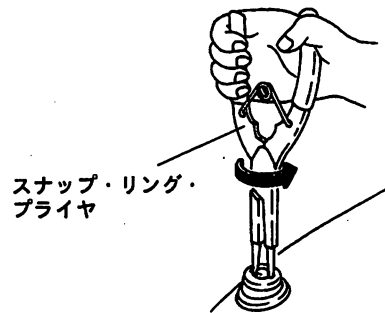
7. 不具合がある場合は、必要な部品を交換する。

アンテナ・マスト取外し

注意

- パワー・アンテナを車両から外している状態でアンテナ・マストを取外すと、アンテナ・マストやパワー・アンテナ・モータを損傷する恐れがある。アンテナ・マストの取外しは、パワー・アンテナを車両に取付けた状態で行う。

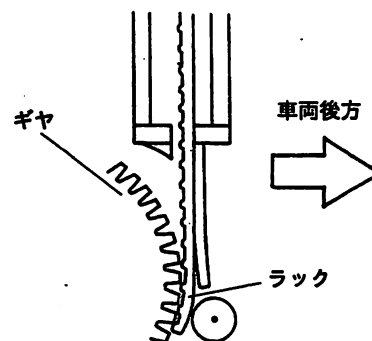
1. スナップ・リング・プライヤを使用して、マウンティング・ナットを取外す。



2. イグニッション・スイッチをACCの位置にする。
3. オーディオ・ユニットの電源を入れる。
4. AM/FMボタンを押してパワー・アンテナを作動させ、アンテナ・マストを抜き取る。

アンテナ・マスト取付け

1. イグニッション・スイッチをACCの位置にする。
2. オーディオ・ユニットの電源を入れる。
3. AM/FMボタンを押し、パワー・アンテナを作動させる。
4. オーディオ・ユニットの電源を切る。(パワー・アンテナ・モータは、アンテナ・マストを下降させる方向に作動し続ける。)
5. ラック先端部の曲がりをもつすぐにする。
6. 図のようにアンテナ・マストをパワー・アンテナに挿入する。



7. マウンティング・ナットを締付ける。

締付けトルク

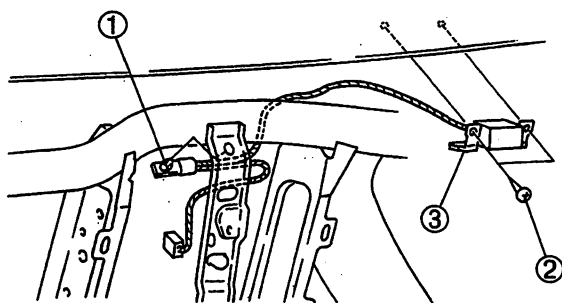
1.5~2.9 N・m {15~30 kgf・cm}

GPSアンテナ取外し／取付け

1. バッテリ (—) ケーブルを切離す。
2. インストルメント・パネルを取外す。(参照：セクションS、インストルメント・パネル アンド コンソール、インストルメント・パネル取外し／取付け)
3. 図に示す手順で取外す。

オーディオ／カー・ナビゲーション・システム

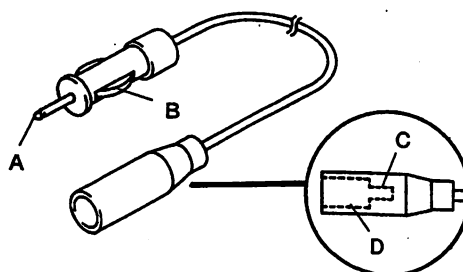
4. 取外しと逆の手順で取付ける。



4. サーキット・テスタを使用して、導通状態が下表のようになることを確認する。

○—○：導通あり

測定条件	端子			
	A	B	C	D
常時	○—○	○—○	○—○	○—○

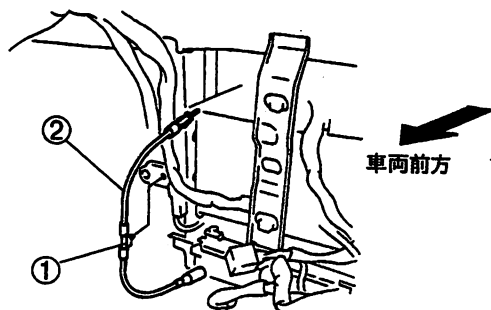


5. 不具合がある場合は、フロント・アンテナ・フィーダを交換する。

1	クリップ
2	スクリュー
3	GPSアンテナ

フロント・アンテナ・フィーダ取外し／取付け

1. バッテリ（－）ケーブルを切離す。
2. オーディオ・ユニットまたはLCDユニットを取外す。（参照：オーディオ・ユニット取外し）（参照：オーディオ・ユニット取付け）（参照：LCDユニット取外し）（参照：LCDユニット取付け）
3. フロント・アンテナ・フィーダとリヤ・アンテナ・フィーダの接続部を切離す。
4. 図に示す手順で取外す。
5. 取外しと逆の手順で取付ける。



1	クリップ
2	フロント・アンテナ・フィーダ

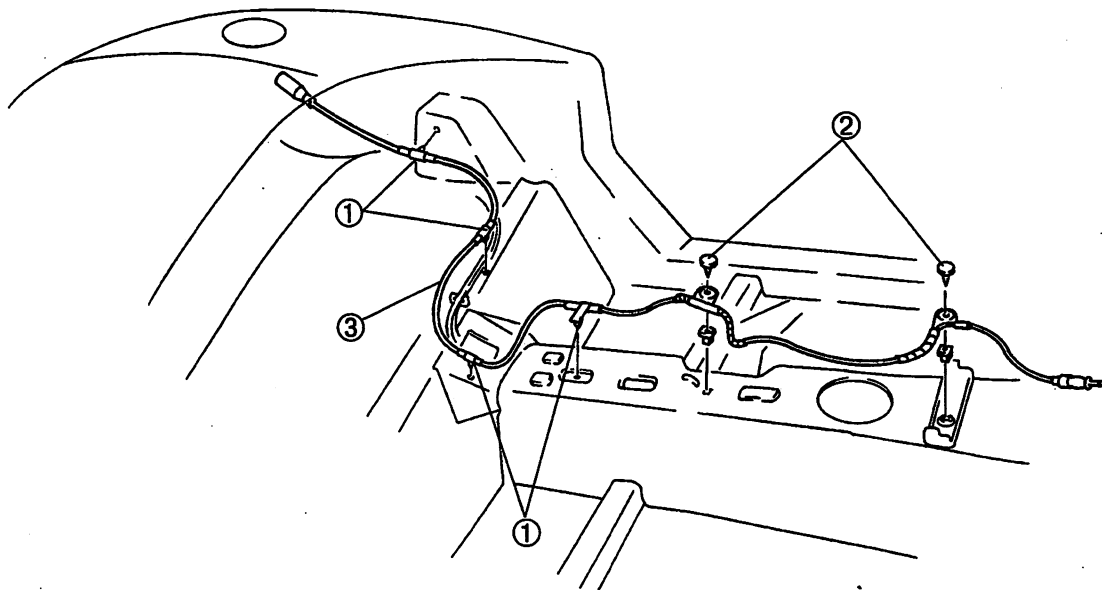
フロント・アンテナ・フィーダ点検

1. オーディオ・ユニットまたはLCDユニットを取外す。（参照：オーディオ・ユニット取外し）（参照：オーディオ・ユニット取付け）（参照：LCDユニット取外し）（参照：LCDユニット取付け）
2. フロント・アンテナ・フィーダとリヤ・アンテナ・フィーダの接続部を切離す。
3. サーキット・テスタを使用して、A端子とB端子間に導通がないことを確認する。

オーディオ／カー・ナビゲーション・システム

リヤ・アンテナ・フィーダ取外し／取付け

1. バッテリ（－）ケーブルを切離す。
2. トランク・サイド・トリム（助手席側）を取外す。（参照：セクションS、トリム、トランク・サイド・トリム取外し／取付け）
3. リヤ・アンテナ・フィーダをパワー・アンテナまたはマニュアル・アンテナから切離す。
4. リヤ・パッケージ・トリムを取外す。（参照：セクションS、トリム、リヤ・パッケージ・トリム取外し／取付け）
5. フロア・マットを運転席側からめくる。（参照：セクションS、フロア・マット、フロア・マット取外し／取付け）
6. フロント・アンテナ・フィーダとリヤ・アンテナ・フィーダの接続部を切離す。
7. 図に示す手順で取外す。
8. 取外しと逆の手順で取付ける。



1	クリップ
2	ファスナ

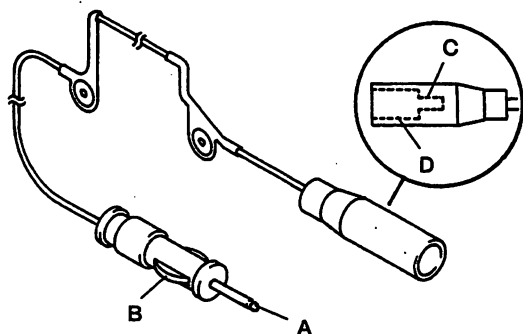
3	リヤ・アンテナ・フィーダ
---	--------------

リヤ・アンテナ・フィーダ点検

1. フロント・アンテナ・フィーダとリヤ・アンテナ・フィーダの接続部を切離す。
2. トランク・サイド・トリム（助手席側）を取外す。（参照：セクションS、トリム、トランク・サイド・トリム取外し／取付け）
3. リヤ・アンテナ・フィーダをパワー・アンテナまたはマニュアル・アンテナから切離す。
4. サーキット・テストを使用して、A端子とB端子間に導通がないことを確認する。
5. サーキット・テストを使用して、導通状態が下表のようになることを確認する。

○—○：導通あり

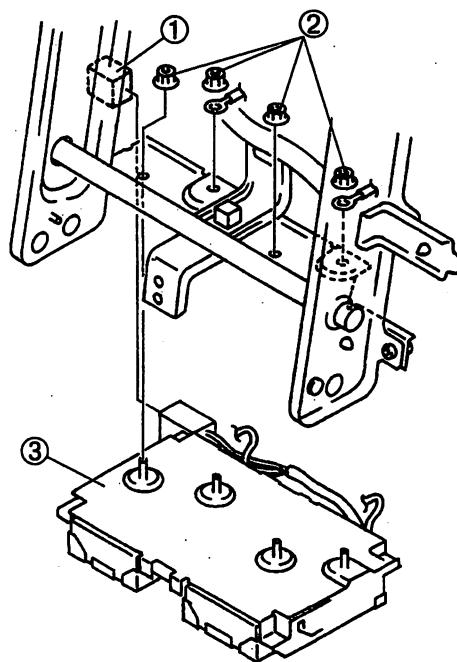
測定条件	端子			
	A	B	C	D
常時	○—	○—	○—	○—



6. 不具合がある場合は、リヤ・アンテナ・フィーダを交換する。

オーディオ・アンプ取外し／取付け

1. バッテリー（－）ケーブルを切離す。
2. インストルメント・パネルを取外す。（参照：セクションS、インストルメント・パネル アンド コンソール、インストルメント・パネル取外し／取付け）
3. 図に示す手順で取外す。
4. 取外しと逆の手順で取付ける。



1	コネクタ
2	ナット
3	オーディオ・アンプ

オーディオ・リレー取外し／取付け

参考

- リレーのロック部が破損しやすい構造のため、交換の必要がある場合以外は、ブラケットからリレーを取外さない。取外す前に必ずオーディオ・リレー点検を行う。

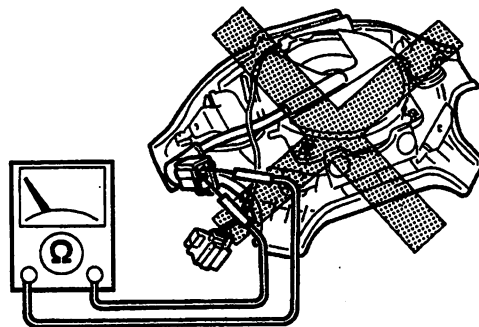
1. バッテリー（－）ケーブルを切離す。
2. ロア・パネルを取外す。
3. ブラケットを取外す。
4. オーディオ・リレー・コネクタを切離す。
5. オーディオ・リレーの側面のロック部を（－）ドライバで軽くこじてブラケットから取外す。

SRSエア・バッグ・システム

整備上の警告

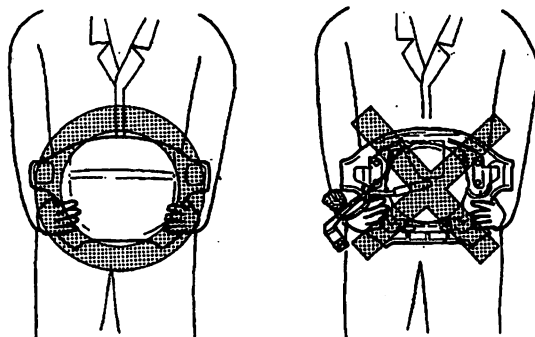
エア・バッグ・モジュールの点検

- サーキット・テスタ等を使用して、エア・バッグ・モジュールの単体点検を行うと、テスタの電流によりエア・バッグが作動（展開）し負傷する恐れがある。エア・バッグ・モジュールの点検は、必ず自己診断機能を用いて行う。

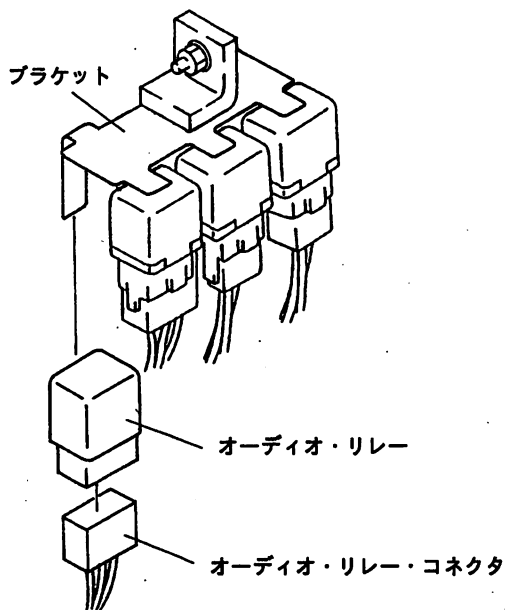
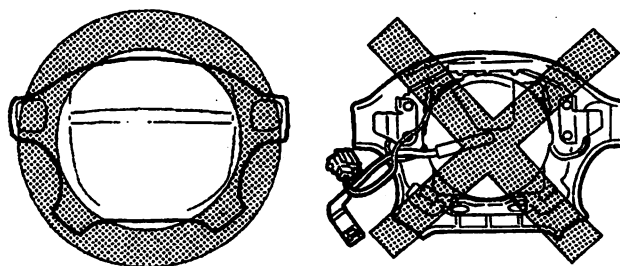


エア・バッグ・モジュールの取扱い

- 未作動（未展開）のエア・バッグ・モジュールのパッド面を内側に向けて持つと、エア・バッグが不意に作動（展開）したとき負傷する恐れがある。未作動（未展開）のエア・バッグ・モジュールは、必ずパッド面を外側に向けて持つ。



- 未作動（未展開）のエア・バッグ・モジュールのパッド面を下に向けて置くと、エア・バッグが不意に作動（展開）したとき負傷する恐れがある。未作動（未展開）のエア・バッグ・モジュールは、必ずパッド面を上に向けて置く。



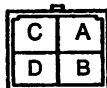
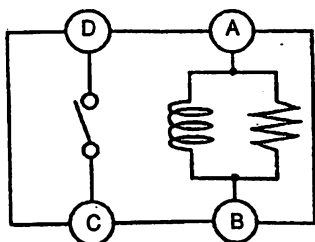
6. 取外しと逆の手順で取付ける。

オーディオ・リレー点検

- ブラケットを取外し、手前に引き出す。（参照：オーディオ・リレー取外し／取付け）
- オーディオ・リレー・コネクタを切離す。
- サーキット・テスタを使用して、導通状態が下表のようになることを確認する。

○—○：導通あり V_B ：バッテリー電圧

ステップ	端子			
	A	B	C	D
1	○—○			
2	V_B	アース	○—○	○—○



- 表に示す通りに導通が確認できない場合は、オーディオ・リレーを交換する。

SRSエア・バッグ・システム

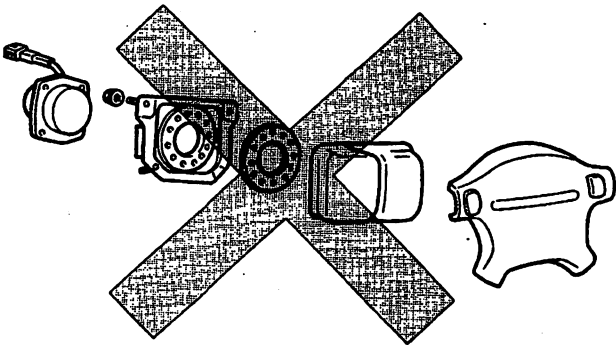
SASユニットの取扱い

- イグニッション・スイッチをONの位置にした状態で、SASユニットの取外し、またはSASユニット・コネクタの切離しを行うと、SASユニット内のセンサが作動して、エア・バッグが作動（展開）し負傷する恐れがある。SASユニットの取外し、およびSASユニット・コネクタの切離しは、必ずイグニッション・スイッチをLOCKの位置にしてバッテリー（-）ケーブルを切離し、SASユニット内のバック・アップ電源に蓄積しているエネルギーが放出するまで1分以上待つてから行う。
- SASユニットにはセンサが内蔵されているため、衝突等によりエア・バッグが作動（展開）したときは、SASユニットに外傷、変形がないように見えても内部故障等の不具合が発生している恐れがある。SASユニットを再使用した場合、エア・バッグが正常に作動（展開）せず重大事故を引き起こす恐れがあるので必ず新品と交換する。SASユニットを単体で点検することはできない。

整備上の注意

SRSエア・バッグ・システムの構成部品の分解

- SRSエア・バッグ・システムの構成部品を分解すると、エア・バッグが正常に作動（展開）しなくなる恐れがある。SRSエア・バッグ・システムの構成部品は絶対に分解しない。



エア・バッグ・モジュールの取扱い

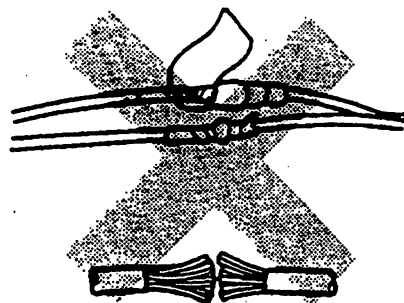
- エア・バッグ・モジュールのコネクタ部にドライバ等を挿入すると、コネクタ部が損傷し、エア・バッグが正常に作動（展開）しなくなる恐れがある。エア・バッグ・モジュールのコネクタ部には、絶対に異物を挿入しない。
- エア・バッグ・モジュールにオイル、グリス、水等を付着させると、エア・バッグが正常に作動（展開）しなくなる恐れがある。エア・バッグ・モジュールには、絶対にオイル、グリス、水等を付着させない。

エア・バッグ・モジュールの再使用

- エア・バッグ・モジュールに外傷、変形がないように見えても内部故障等の不具合が発生している恐れがある。未作動（未展開）のエア・バッグ・モジュールを再使用するときは、事前に自己診断機能を用いてエア・バッグ・モジュールに不具合がないことを確認する。

エア・バッグ・ハーネスの修正

- エア・バッグ・ハーネスを修正すると、エア・バッグが正常に作動（展開）しなくなる恐れがある。エア・バッグ・ハーネスに不具合が認められた場合は、必ず新品のエア・バッグ・ハーネスと交換する。



運転席側エア・バッグ・モジュール取外し／取付け

警告

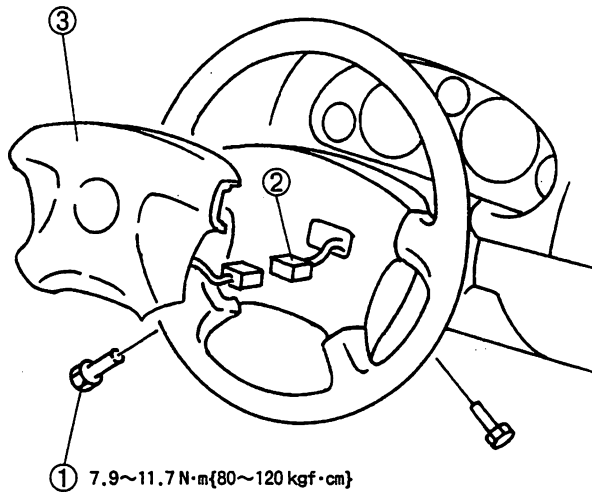
- エア・バッグ・モジュールを誤って取扱うと、エア・バッグが不意に作動（展開）し負傷する恐れがある。エア・バッグ・モジュールを取扱う前には必ず「整備上の警告」と「整備上の注意」を参照する。（参照：整備上の警告）（参照：整備上の注意）

1. イグニッション・スイッチをLOCKの位置にする。
2. バッテリー（-）ケーブルを切離し、1分以上待つ。
3. 図に示す手順で取外す。
4. 取外しと逆の手順で取付ける。
5. イグニッション・スイッチをONの位置にしたとき、エア・バッグ・システム・ワーニング・ライトが約6秒間点灯し、その後消灯することを確認する。

SRSエア・バッグ・システム

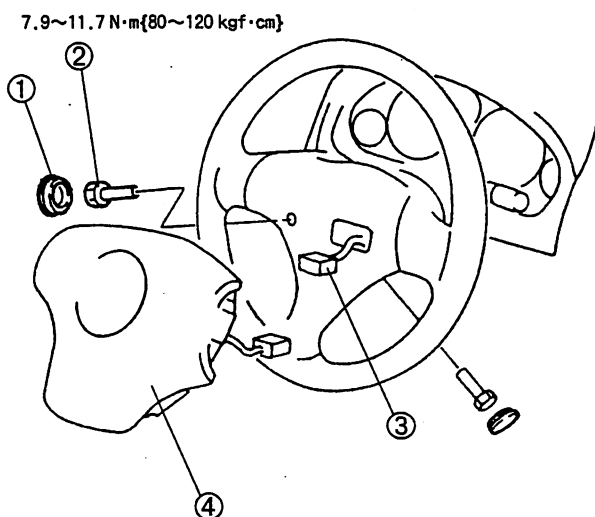
6. エア・バッグ・システム・ワーニング・ライトが正常に作動しない場合は、自己診断機能を用いてシステムを点検する。(参照：自己診断機能、SRSエア・バッグ・システム)

スタンダード・タイプ



1	ボルト ☞ 取付け時の留意点
2	コネクタ ☞ 取付け時の留意点
3	運転席側エア・バッグ・モジュール

スポーツ・タイプ

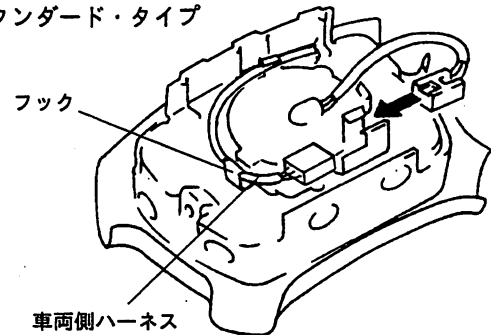


1	キャップ
2	ボルト ☞ 取付け時の留意点
3	コネクタ ☞ 取付け時の留意点
4	運転席側エア・バッグ・モジュール

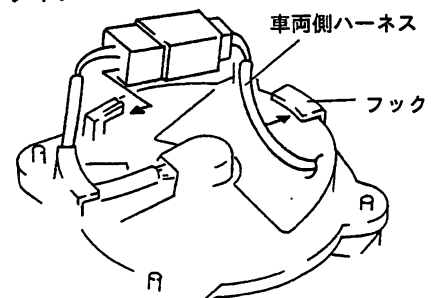
コネクタ取付け時の留意点

- 図に示すようにコネクタを取付け、車両側ハーネスをフックにかける。

スタンダード・タイプ



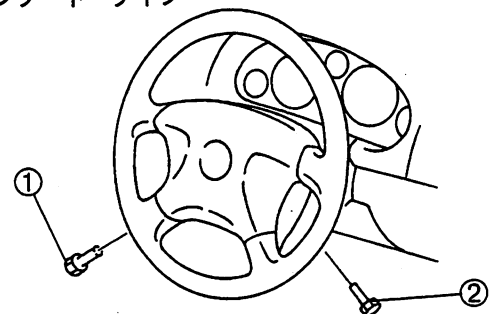
スポーツ・タイプ



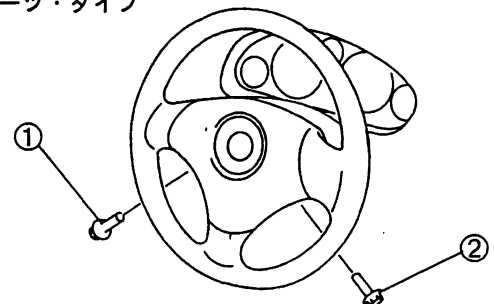
ボルト取付け時の留意点

- 図に示す順番でボルトを締付ける。

スタンダード・タイプ



スポーツ・タイプ



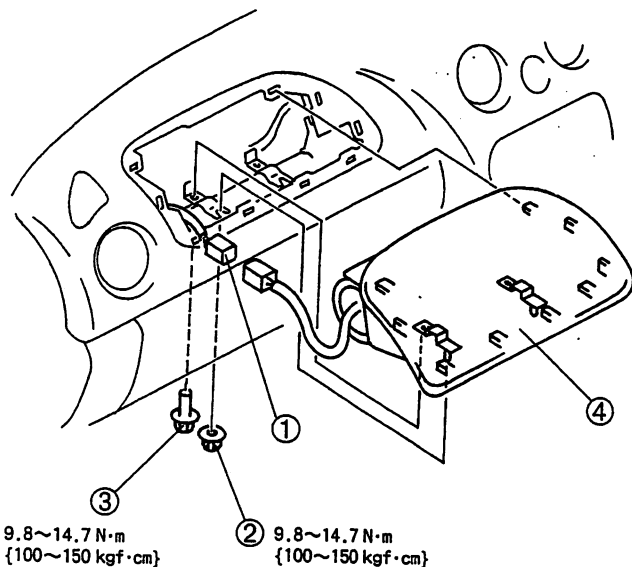
SRSエア・バッグ・システム

助手席側エア・バッグ・モジュール取外し／取付け

警告

- エア・バッグ・モジュールを誤って取扱うと、エア・バッグが不意に作動（展開）し負傷する恐れがある。エア・バッグ・モジュールを取扱う前には必ず「整備上の警告」と「整備上の注意」を参照する。（参照：整備上の警告）（参照：整備上の注意）

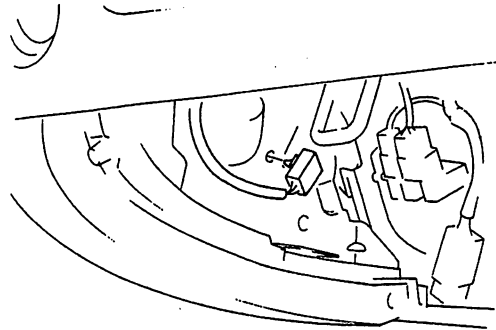
- イグニッション・スイッチをLOCKの位置にする。
- バッテリー（－）ケーブルを切離し、1分以上待つ。
- グローブ・ボックスを取外す。
- 図に示す手順で取外す。
- 取外しと逆の手順で取付ける。
- イグニッション・スイッチをONの位置にしたとき、エア・バッグ・システム・ワーニング・ライトが約6秒間点灯し、その後消灯することを確認する。
- エア・バッグ・システム・ワーニング・ライトが正常に作動しない場合は、自己診断機能を用いてシステムを点検する。（参照：自己診断機能、SRSエア・バッグ・システム）



1	コネクタ ☞ 取付け時の留意点
2	ナット
3	ボルト
4	助手席側エア・バッグ・モジュール

コネクタ取付け時の留意点

- 図に示すようにコネクタを取付ける。

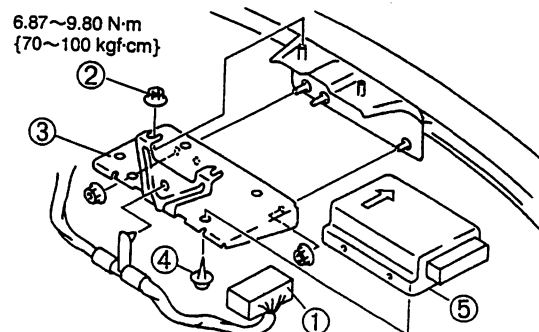


SASユニット取外し／取付け

警告

- SASユニットを誤って取扱うと、エア・バッグが不意に作動（展開）し負傷する恐れがある。SASユニットを取扱う前には必ず「整備上の警告」と「整備上の注意」を参照する。（参照：整備上の警告）（参照：整備上の注意）

- イグニッション・スイッチをLOCKの位置にする。
- バッテリー（－）ケーブルを切離し、1分以上待つ。
- インストルメント・パネルを取外す。（参照：セクションS、インストルメント・パネル アンド コンソール、インストルメント・パネル取外し／取付け）
- 図に示す手順で取外す。
- 取外しと逆の手順で取付ける。
- イグニッション・スイッチをONの位置にしたとき、エア・バッグ・システム・ワーニング・ライトが約6秒間点灯し、その後消灯することを確認する。
- エア・バッグ・システム・ワーニング・ライトが正常に作動しない場合は、自己診断機能を用いてシステムを点検する。（参照：自己診断機能、SRSエア・バッグ・システム）

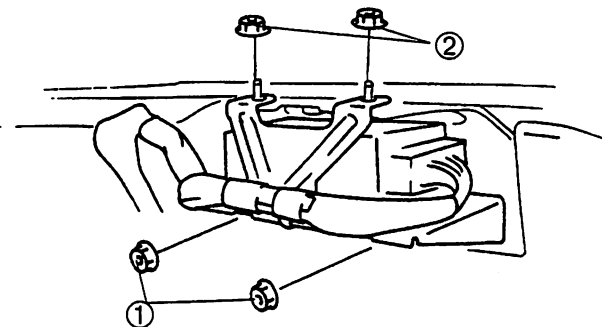


S R Sエア・バッグ・システム

1	コネクタ
2	ナット
	☞ 取付け時の留意点
3	ブラケット
4	スクリュ
5	S A Sユニット

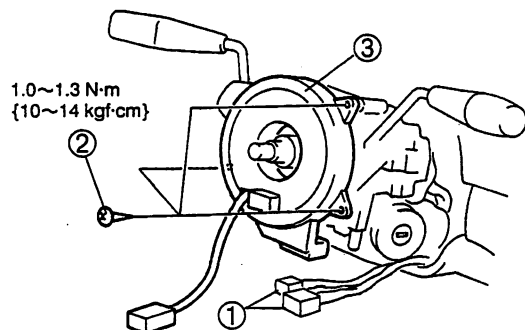
ナット取付け時の留意点

- 図に示す順番でナットを締付ける。



クロック・スプリング取外し／取付け

1. バッテリ（－）ケーブルを切離す。
2. コラム・カバーを取外す。
3. 運転席側エア・バッグ・モジュールを取外す。（参照：運転席側エア・バッグ・モジュール取外し／取付け）
4. ステアリング・ホイールを取外す。（参照：セクションN、エンジン回転数感应型パワー・ステアリング、ステアリング・ホイール アンド コラム取外し／取付け）
5. 図に示す手順で取外す。
6. 取外しと逆の手順で取付ける。



1	コネクタ
2	スクリュ
3	クロック・スプリング

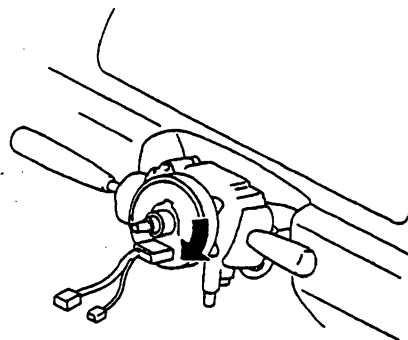
クロック・スプリング調整

1. フロント・タイヤを直進状態にする。

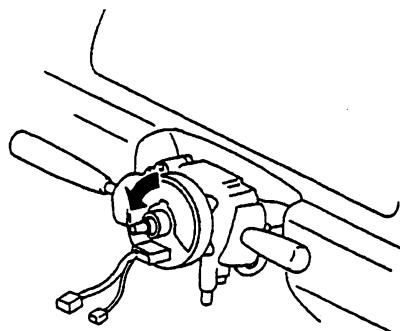
注意

- クロック・スプリングの損傷を防ぐため、過度の力を加えてクロック・スプリングを回転させない。

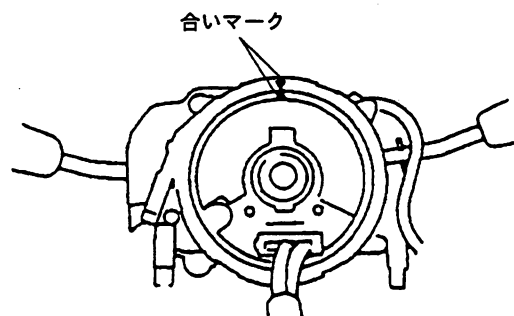
2. クロック・スプリングを時計回りに止まるまで回転させる。



3. 止まるまで回転させた状態から、反時計回りに2.75回転戻す。



4. 合いマークを合わせる。



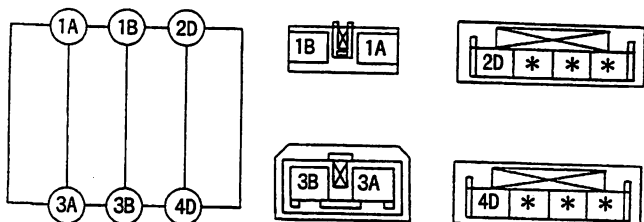
クロック・スプリング点検

1. クロック・スプリングを取外す。（参照：クロック・スプリング取外し／取付け）
2. サーキット・テスタを使用して、導通状態が下表のようになることを確認する。

SRSエア・バッグ・システム

○—○ : 導通あり

測定条件	端子					
	1 A	1 B	2 D	3 A	3 B	4 D
常時	○			○		
		○			○	
			○			○



参考

- エア・バッグ・モジュールの誤作動（展開）を防ぐため、クロック・スプリングの車両側コネクタを切離すと、1 A端子と1 B端子は短絡する。
- 表に示す通りに導通が確認できない場合は、クロック・スプリングを交換する。

エア・バッグ・モジュールの作動（展開）許可操作

- 新品のSASユニットを取付けた後、イグニッション・スイッチをONの位置にしたとき、エア・バッグ・システム・ワーニング・ライトが約6秒間点灯し、その後連続点滅することを確認する。
- エア・バッグ・システム・ワーニング・ライトが連続点滅せず、サービス・コードを出力している場合は、自己診断機能を用いてシステムを点検する。（参照：自己診断機能、SRSエア・バッグ・システム）
- エア・バッグ・システム・ワーニング・ライトが連続点滅している状態で、イグニッション・スイッチをLOCKの位置にする。
- その後再びイグニッション・スイッチをONの位置に戻したとき、エア・バッグ・システム・ワーニング・ライトが約6秒間点灯し、その後消灯することを確認する。
- エア・バッグ・システム・ワーニング・ライトが消灯せず、連続点滅し続ける場合は、再度エア・バッグ・モジュールの作動（展開）許可操作を行う。

エア・バッグ・モジュールの作動（展開）方法

車内での作動（展開）方法

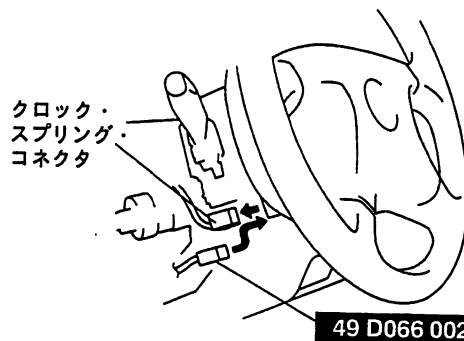
参考

- SST（デプロイメント・ツール）の点検手順は、備え付けの取扱説明書に従う。

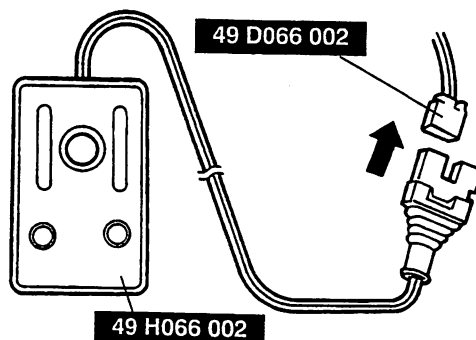
- SST（デプロイメント・ツール）が正常に作動するか点検する。
- 車両を屋外の安全な場所に移動させ、全てのドアおよびドア・ガラスを全閉にする。
- イグニッション・スイッチをLOCKの位置にする。
- バッテリー（-）ケーブルを切離し、1分以上待つ。

運転席側エア・バッグ・モジュール

- コラム・カバーを外す。（参照：セクションS、インストルメント・パネル アンド コンソール、コラム・カバー取外し／取付け）
- クロック・スプリング・コネクタを切離す。
- SST（ハーネス・アダプタ）をクロック・スプリングに接続する。



- SST（デプロイメント・ツール）をSST（ハーネス・アダプタ）に接続する。

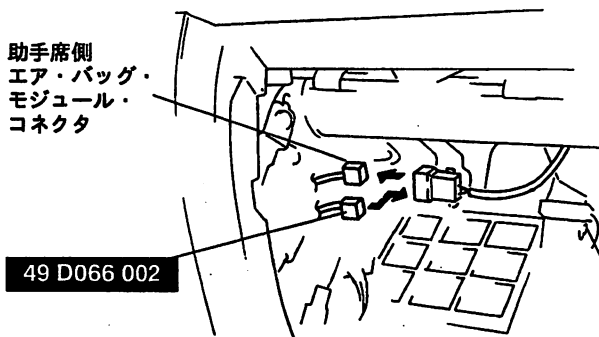


- SST（デプロイメント・ツール）をバッテリーに接続する。（電源クリップの赤をバッテリー（+）端子に、黒をバッテリー（-）端子にそれぞれ接続する）

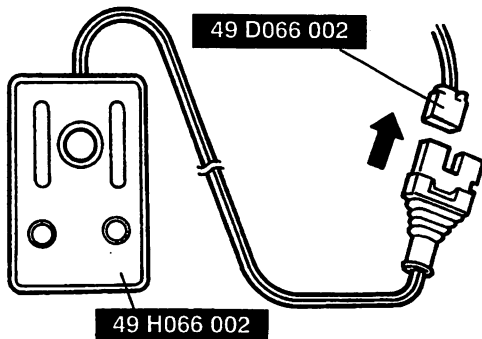
6. SST (デプロイメント・ツール) の赤ランプが点灯することを確認する。
7. 車両から6 m以内に人がいないことを確認する。
8. SST (デプロイメント・ツール) の作動スイッチを押して、運転席側エア・バッグ・モジュールを作動 (展開) させる。

助手席側エア・バッグ・モジュール

1. グローブ・ボックスを外す。(参照: セクション S、インストルメント・パネル アンド コンソール、グローブ・ボックス取外し/取付け)
2. 助手席側エア・バッグ・モジュール・コネクタを切離す。
3. SST (ハーネス・アダプタ) を助手席側エア・バッグ・モジュールに接続する。



4. SST (デプロイメント・ツール) を SST (ハーネス・アダプタ) に接続する。



5. SST (デプロイメント・ツール) をバッテリーに接続する。(電源クリップの赤をバッテリー (+) 端子に、黒をバッテリー (-) 端子にそれぞれ接続する)
6. SST (デプロイメント・ツール) の赤ランプが点灯することを確認する。
7. 車両から6 m以内に人がいないことを確認する。
8. SST (デプロイメント・ツール) の作動スイッチを押して、助手席側エア・バッグ・モジュールを作動 (展開) させる。

車外での作動 (展開) 方法

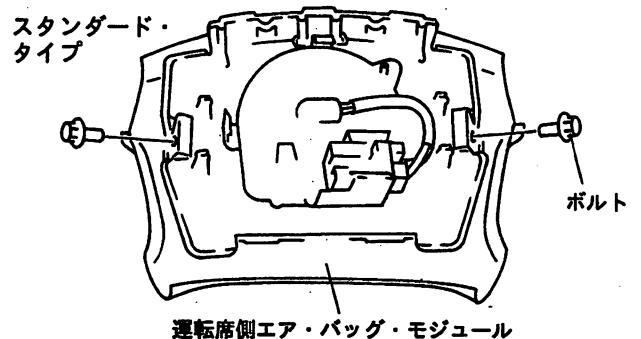
参考

- SST (デプロイメント・ツール) の点検手順は、備え付けの取扱説明書に従う。

1. SST (デプロイメント・ツール) が正常に作動するか点検する。

運転席側エア・バッグ・モジュール

1. 運転席側エア・バッグ・モジュールを外す。(参照: 運転席側エア・バッグ・モジュール取外し/取付け)
2. スタンダード・タイプは、運転席側エア・バッグ・モジュールにボルトを取付ける。



警告

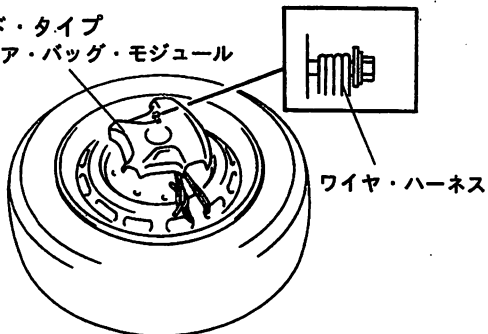
- エア・バッグ・モジュールをしっかりとホイールに固定しないと、作動 (展開) 時の衝撃によりタイヤが倒れ、負傷する恐れがある。これを防止するため、エア・バッグ・モジュールはパッド面を上に向けた状態でしっかりとホイールに固定する。

3. 運転席側エア・バッグ・モジュールを、パッド面を上に向けた状態でホイールの上に置く。スタンダード・タイプは、自動車用のワイヤ・ハーネス (断面積1.25 mm²以上) をボルトとホイールに4回巻きつけて結び、固定する。スポーツ・タイプは、自動車用のワイヤ・ハーネス (断面積1.25 mm²以上) をボルト取付け穴とホイールに4回通して結び、固定する。

S R S エア・バッグ・システム

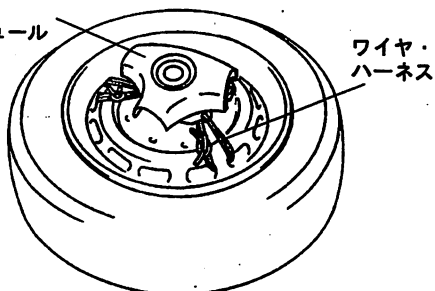
スタンダード・タイプ

運転席側エア・バッグ・モジュール

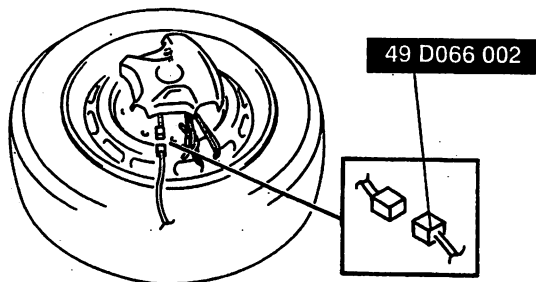


スポーツ・タイプ

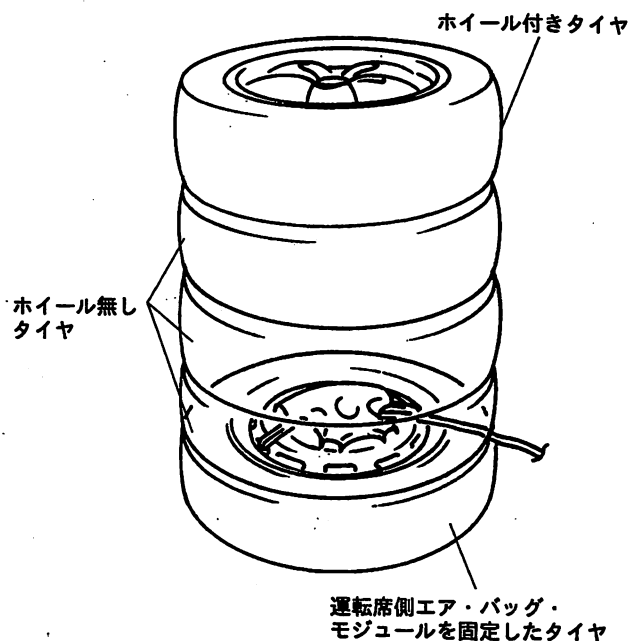
運転席側エア・
バッグ・モジュール



4. 運転席側エア・バッグ・モジュールに SST (ハーネス・アダプタ) を接続する。



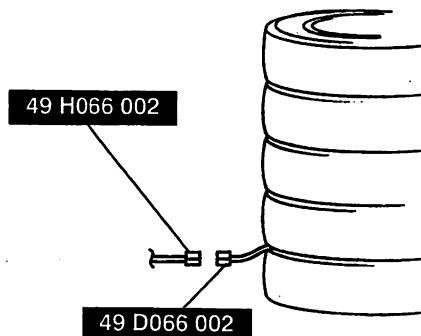
5. 運転席側エア・バッグ・モジュールを固定したタイヤの上に3本以上ホイール無しタイヤを置き、一番上にホイール付きのタイヤを置く。



6. 自動車用のワイヤ・ハーネス (断面積1.25 mm²以上) でタイヤを固定する。



7. SST (デプロイメント・ツール) を SST (ハーネス・アダプタ) に接続する。



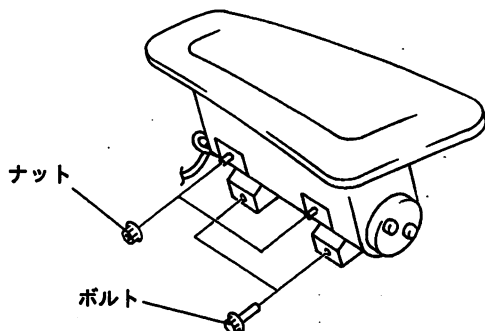
8. SST (デプロイメント・ツール) をバッテリーに接続する。(電源クリップの赤をバッテリー (+) 端子に、黒をバッテリー (-) 端子にそれぞれ接続する)
9. SST (デプロイメント・ツール) の赤ランプが点灯することを確認する。
10. タイヤから 6 m 以内に人がいないことを確認する。

SRSエア・バッグ・システム

11. SST (デプロイメント・ツール) の作動スイッチを押して、エア・バッグ・モジュールを作動(展開)させる。

助手席側エア・バッグ・モジュール

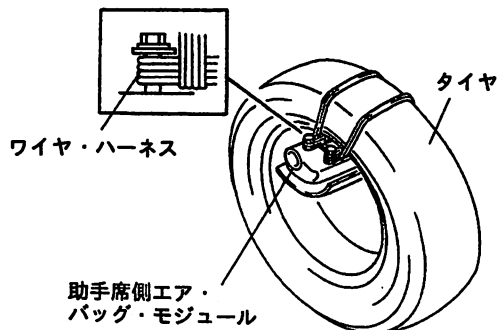
1. 助手席側エア・バッグ・モジュールを取外す。(参照：助手席側エア・バッグ・モジュール取外し／取付け)
2. 助手席側エア・バッグ・モジュールにボルトおよびナットを取付ける。



警告

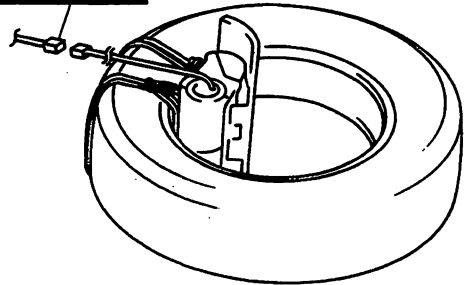
- エア・バッグ・モジュールをしっかりとタイヤに固定しないと、作動(展開)時の衝撃によりタイヤが倒れ、負傷する恐れがある。これを防止するため、エア・バッグ・モジュールはパッド面をタイヤの中心に向けた状態でしっかりとタイヤに固定する。

3. 自動車のワイヤ・ハーネス(断面積1.25 mm²以上)をボルトおよびナットのまわりに4回巻きつける。助手席側エア・バッグ・モジュールのパッド面をタイヤの中心に向けた状態で、ボルトおよびナットに巻きつけたワイヤ・ハーネスにワイヤ・ハーネスを通し、タイヤに4回巻きつけて固定する。

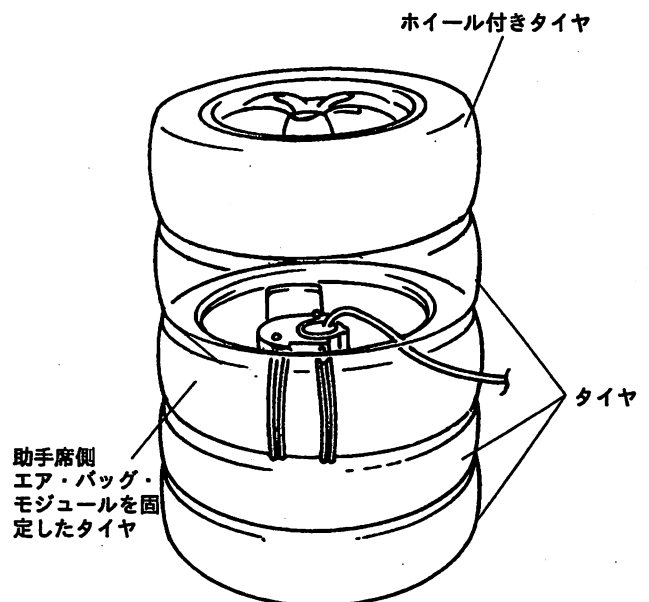


4. 助手席側エア・バッグ・モジュールにSST (ハーネス・アダプタ) を接続する。

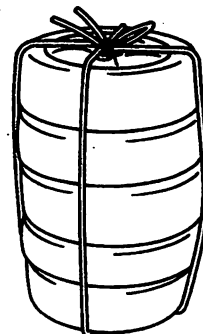
49 D066 002



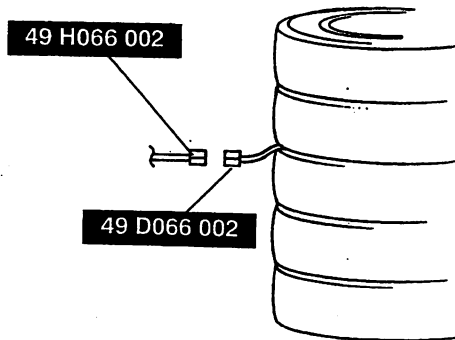
5. ホイール無しタイヤを2本重ねた上に助手席側エア・バッグ・モジュールを固定したタイヤを置く。助手席側エア・バッグ・モジュールを固定したタイヤの上に1本ホイール無しタイヤを置き、一番上にホイール付きのタイヤを置く。



6. 自動車のワイヤ・ハーネス(断面積1.25 mm²以上)でタイヤを固定する。



7. SST (デプロイメント・ツール) をSST (ハーネス・アダプタ) に接続する。



警告

- 作動（展開）したエア・バッグ・モジュールには、人体に有害な薬物が付着している恐れがある。作動（展開）したエア・バッグ・モジュールを取扱うときは、保護めがね、および手袋を着用し、作業終了後には必ず手を水洗いする。

- 作動（展開）したエア・バッグ・モジュールを取外す。
- ビニール袋に入れて密封し廃棄する。



- SST（デプロイメント・ツール）をバッテリーに接続する。（電源クリップの赤をバッテリー（+）端子に、黒をバッテリー（-）端子にそれぞれ接続する）
- SST（デプロイメント・ツール）の赤ランプが点灯することを確認する。
- タイヤから 6 m 以内に人がいないことを確認する。
- SST（デプロイメント・ツール）の作動スイッチを押して、エア・バッグ・モジュールを作動（展開）させる。

エア・バッグ・モジュールの廃棄

警告

- 未作動（未展開）の状態でエア・バッグ・モジュールを廃棄すると、エア・バッグが不意に作動（展開）したとき負傷する恐れがある。エア・バッグ・モジュールは、必ず「エア・バッグ・モジュールの作動（展開）方法」を参照して、作動（展開）させた状態で廃棄する。

警告

- 作動（展開）直後のエア・バッグ・モジュールは大変高温になっているため、触れると火傷する恐れがある。作動（展開）後15分以上放置し、温度が下がるのを待って取扱う。

警告

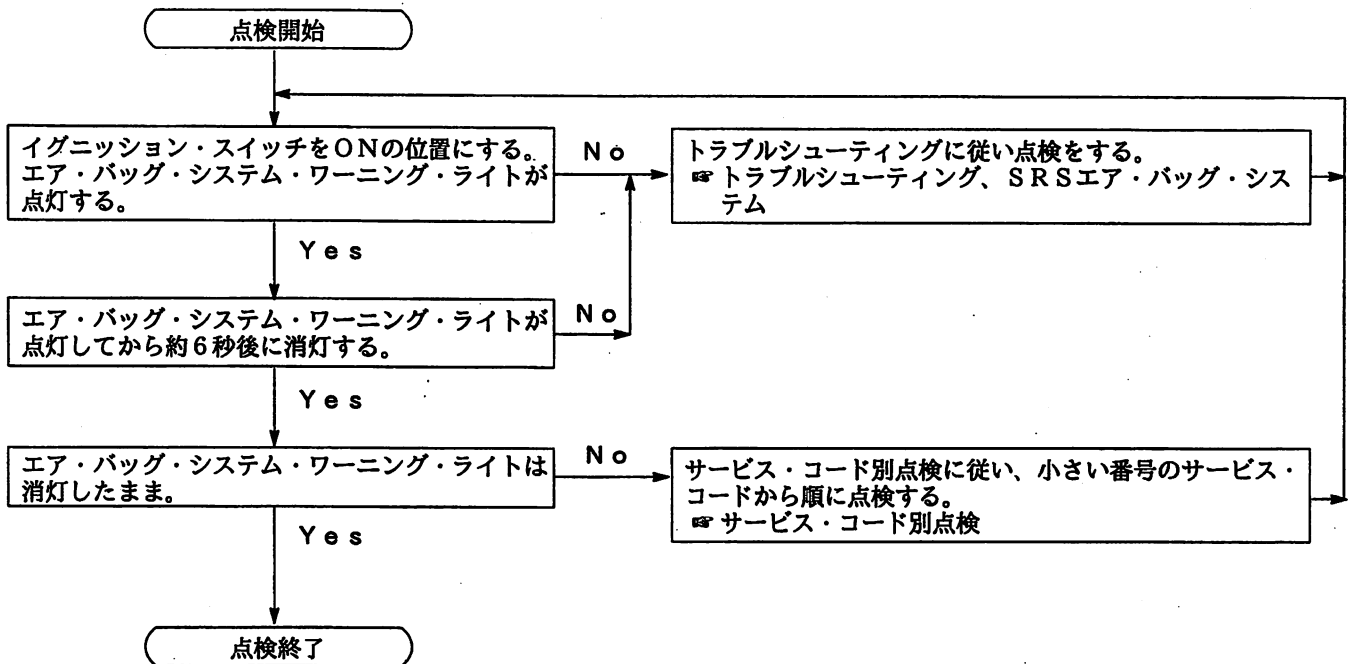
- 作動（展開）したエア・バッグ・モジュールに水等がかかると、化学反応により人体に有害なガスが発生する恐れがある。作動（展開）したエア・バッグ・モジュールには絶対に水等をかけない。

自己診断機能

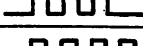
SRSエア・バッグ・システム

- SASユニットには、自己診断機能が装備されている。自己診断機能は、SRSエア・バッグ・システムに故障が生じた時、コンビネーション・メータ内のエア・バッグ・システム・ワーニング・ライトを点滅または点灯させサービス・コードを表示する。サービス・コードを読み取ることにより、故障系統を絞り込める。

点検手順



サービス・コード一覧表

No.	出力パターン	診断系統
1	ON  OFF 	SASユニット・コネクタ半嵌合
2	ON  OFF 	SASユニットの内部回路
3	ON  OFF 	SASユニットの電源供給回路系統
6	ON  OFF 	運転席側エア・バッグ・モジュール系統
7	ON  OFF 	助手席側エア・バッグ・モジュール系統

参考

- 新品のSASユニットに交換した際、エア・バッグ・システム・ワーニング・ライトが連続点滅している場合は、エア・バッグ・モジュールの作動（展開）許可操作を行う。（参照：SRSエア・バッグ・システム、エア・バッグ・モジュールの作動（展開）許可操作）

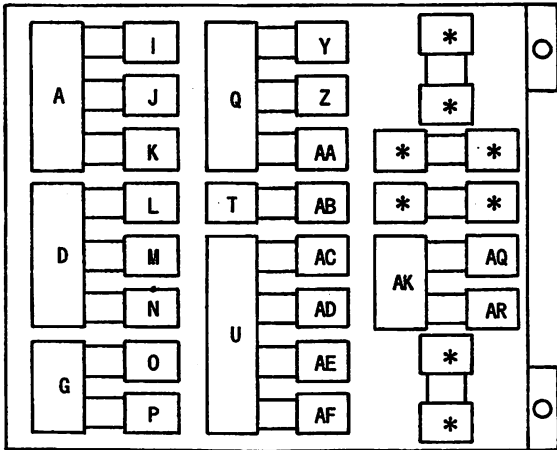
自己診断機能

サービス・コード別点検

サービス・コード番号 1		SASユニット・コネクタ半嵌合		
検出条件		半嵌合検知バーの端子間に導通がないとき		
考えられる原因		● SASユニット・コネクタの接続不良 ● SASユニット・コネクタの不良		
ステップ	点 検		処 置	
1	警告 ● SRSエア・バッグ・システムの構成部品を誤って取扱うと、エア・バッグが不意に作動（展開）し負傷する恐れがある。SRSエア・バッグ・システムの構成部品を取扱う前には必ず、「整備上の警告」と「整備上の注意」を参照する ☞ SRSエア・バッグ・システム、整備上の警告 ☞ SRSエア・バッグ・システム、整備上の注意 イグニッション・スイッチをLOCKの位置にする バッテリー（－）ケーブルを切離し、1分以上待つ インストルメント・パネルを取外す ☞ セクションS、インストルメント・パネル アンド コンソール、インストルメント・パネル 取外し／取付け SASユニット・コネクタが確実に接続されているか		Yes	次のステップへ進む
			No	コネクタを確実に接続する
2	SASユニット・コネクタを切離す SASユニット・コネクタは正常か		Yes	SASユニットを交換する ☞ SRSエア・バッグ・システム、SASユニット取外し／取付け
			No	エア・バッグ・ハーネスを交換する

サービス・コード番号 2		SASユニットの内部回路
検出条件	内部回路の異常を判定したとき	
考えられる原因	● SASユニットの故障	
処 置		
SASユニットを交換する		
☞ SRSエア・バッグ・システム、SASユニット取外し／取付け		

自己診断機能

サービス・コード番号 3		SASユニットの電源供給回路系統	
検出条件		● AB端子とZ端子で検出される電圧値が9 V以下のとき	
考えられる原因		参考 ● 長いクランキング等によりSASユニットに十分な電圧が供給できない場合、SASユニットが正常であるにもかかわらず一時的にサービス・コード3が表示されることがある。(METER15Aフューズ～SASユニット・コネクタのAB端子間とENGINE15Aフューズ～SASユニット・コネクタのZ端子間の2系統のハーネスが同時に電圧降下した場合) ● バッテリーの不良 ● 電源供給ハーネスの不良	
ステップ	点 検		処 置
1	警告 ● SRSエア・バッグ・システムの構成部品を誤って取扱い、エア・バッグが不意に作動(展開)し負傷する恐れがある。SRSエア・バッグ・システムの構成部品を取扱う前には必ず、「整備上の警告」と「整備上の注意」を参照する。 ☞ SRSエア・バッグ・システム、整備上の警告 ☞ SRSエア・バッグ・システム、整備上の注意 バッテリーの端子電圧を測定し、電圧が9 V以下か	Yes	バッテリーの不良 ● 充放電システムを点検する
		No	次のステップへ進む
2	フューズ・ブロック・カバーを外す A/B10Aフューズを取外す イグニッション・スイッチをONの位置にする フューズ・ブロックU端子の電圧が9 V以下か	Yes	バッテリー～フューズ・ブロック間のハーネスを修正する
		No	SASユニットを交換する ☞ SRSエア・バッグ・システム、SASユニット取外し/取付け
フューズ・ブロック 			

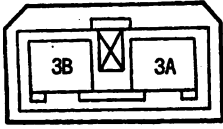
自己診断機能

サービス・コード番号 6		運転席側エア・バッグ・モジュール系統	
検出条件		SASユニットのM-O端子間において検出される抵抗が 2Ω 以外の値となる	
考えられる原因		● 運転席側エア・バッグ・モジュールの不良 ● クロック・スプリングの不良 ● クロック・スプリング～SASユニット間のコネクタの不良 ● クロック・スプリング～SASユニット間のハーネスの断線または短絡	
ステップ	点 検		処 置
1	警告 ● SRSエア・バッグ・システムの構成部品を誤って取扱うと、負傷する恐れがある。SRSエア・バッグ・システムの構成部品を取扱う前には必ず、「整備上の警告」と「整備上の注意」を参照する。 ☞ SRSエア・バッグ・システム、整備上の警告 ☞ SRSエア・バッグ・システム、整備上の注意	Yes	次のステップへ進む
	イグニッション・スイッチをLOCKの位置にする バッテリ（-）ケーブルを切離し、1分以上待つ 運転席側エア・バッグ・モジュールを外す ☞ SRSエア・バッグ・システム、運転席側エア・バッグ・モジュール取外し／取付け クロック・スプリングのピンは正常か	No	クロック・スプリングを交換する
2	SST（フューエル&サーモメータ・チェッカ）のリード線をクロック・スプリングの3A～3B端子間へ接続する SST（フューエル&サーモメータ・チェッカ）の抵抗値を 2Ω へセットする バッテリ（-）ケーブルを接続する イグニッション・スイッチをONの位置にしたとき、サービス・コード6が表示されるか	Yes	次のステップへ進む
		No	運転席側エア・バッグ・モジュールを交換する ☞ SRSエア・バッグ・システム、運転席側エア・バッグ・モジュール取外し／取付け
3	イグニッション・スイッチをLOCKの位置にする バッテリ（-）ケーブルを切離し、1分以上待つ コラム・カバーを外す ☞ セクションS、インストルメント・パネル アンド コンソール、コラム・カバー取外し／取付け クロック・スプリング・コネクタを切離す クロック・スプリング・コネクタのピンは正常か	Yes	次のステップへ進む
		No	エア・バッグ・ハーネスを交換する

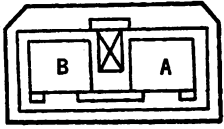
自己診断機能

ステップ	点 検	処 置
4	SST (フューエル&サーモメータ・チェック) のリード線をクロック・スプリング・コネクタのA~B端子間へ接続する	Yes 次のステップへ進む
	SST (フューエル&サーモメータ・チェック) の抵抗値を2Ωへセットする バッテリー (-) ケーブルを接続する イグニッション・スイッチをONの位置にしたとき、サービス・コード6が表示されるか	No クロック・スプリングを交換する
5	イグニッション・スイッチをLOCKの位置にする バッテリー (-) ケーブルを切離し、1分以上待つ インストルメント・パネルを取外す セクションS、インストルメント・パネル アンド コンソール、インストルメント・パネル取外し/取付け SASユニット・コネクタを切離す SASユニット・コネクタのM端子からクロック・スプリング・コネクタのA端子間と、SASユニット・コネクタのO端子からクロック・スプリング・コネクタのB端子間のハーネスを以下の点について点検を行い正常か	Yes SASユニットを交換する
	- アースへのショート - 電源へのショート - 断線	No エア・バッグ・ハーネスを交換する

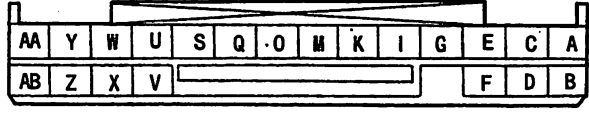
クロック・スプリング



クロック・スプリング・コネクタ



SASユニット・コネクタ



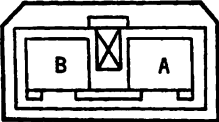
自己診断機能

サービス・コード番号 7		助手席側エア・バッグ・モジュール系統	
検出条件		SASユニットのI-K端子間において検出される抵抗が2Ω以外の値となる	
考えられる原因		- 助手席側エア・バッグ・モジュールの不良 - 助手席側エア・バッグ・モジュール～SASユニット間のコネクタの不良 - 助手席側エア・バッグ・モジュール～SASユニット間のハーネスの断線または短絡	
ステップ	点検	処置	
1	警告 SRSエア・バッグ・システムの構成部品を誤って取扱うと、負傷する恐れがある。SRSエア・バッグ・システムの構成部品を取扱う前には必ず、「整備上の警告」と「整備上の注意」を参照する。 ☞ SRSエア・バッグ・システム、整備上の警告 ☞ SRSエア・バッグ・システム、整備上の注意 イグニッション・スイッチをLOCKの位置にする バッテリー（-）ケーブルを切離し、1分以上待つ グローブ・ボックスを取外す ☞ セクションS、インストルメント・パネル アンド コンソール、グローブ・ボックス取外し／取付け 助手席側エア・バッグ・モジュール・コネクタを切離す 助手席側エア・バッグ・モジュール・コネクタのピンは正常か	Yes	次のステップへ進む
		No	エア・バッグ・ハーネスを交換する
2	SST（フューエル&サーモメータ・チェツカ）のリード線を助手席側エア・バッグ・モジュール・コネクタのA～B端子間へ接続する SST（フューエル&サーモメータ・チェツカ）の抵抗値を2Ωへセットする バッテリー（-）ケーブルを接続する イグニッション・スイッチをONの位置にしたとき、サービス・コード7が表示されるか	Yes	次のステップへ進む
		No	助手席側エア・バッグ・モジュールを交換する ☞ SRSエア・バッグ・システム、助手席側エア・バッグ・モジュール取外し／取付け

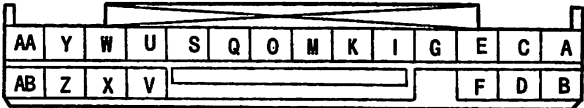
自己診断機能

ステップ	点 検	処 置
3	イグニッション・スイッチをLOCKの位置にする バッテリー（-）ケーブルを切離し、1分以上待つ コラム・カバーを取外す クロック・スプリング・コネクタを切離す インストルメント・パネルを取外す ☐ セクションS、インストルメント・パネル アンド コンソール、インストルメント・パネル取外し/取付け SASユニット・コネクタを切離す SASユニット・コネクタのI端子から助手席側エア・バッグ・モジュール・コネクタのA端子間と、SASユニット・コネクタのK端子から助手席側エア・バッグ・モジュール・コネクタのB端子間のハーネスを以下の点について点検を行い正常か ● アースへのショート ● 電源へのショート ● 断線	Yes SASユニットを交換する
		No エア・バッグ・ハーネスを交換する

助手席側エア・バッグ・
モジュール・コネクタ



SASユニット・コネクタ



トラブルシューティング

トラブルシューティング

カー・ナビゲーション・システム

始めに

- セクションG Iを参照して、トラブルシューティングの基本的な進め方を確認する。
- トラブルシューティングは、不具合現象一覧表で現象No.を確認後、不具合現象別故障診断に進む。
- *のあるステップは、まず、点検するコネクタおよび端子の接続状態、損傷状態を確認後、ワイヤ・ハーネスを揺すりながら点検する。(コネクタ、端子またはワイヤ・ハーネスの接触不良による不具合が考えられるため。)コネクタまたは端子に不具合のある場合は、確実に接続する、または修正、交換を行う。

不具合現象一覧表

No.	不具合現象
1	車両後退時、カー・マークが前進する
2	車両走行中でもTVが映る
3	TVモード時、パーキング・ブレーキ・レバーを引いてもTVが映らない
4	ナビ・モード時、カー・マークが飛ぶ(スピード・メータの作動は正常)
5	ヘッド・ライト・スイッチをONにしても夜画面に切り替わらない(フロント・コンビネーション・ライト、リヤ・コンビネーション・ライトの作動は正常)
6	TVの音声、映像共に作動しない
7	TVの音声が出ない、または音声小さい(他のモードでは正常)
8	TVの映像が出ない
9	TVの映像にノイズが出る
10	TVの音声にノイズが出る
11	TVをON/OFFするとノイズが出る

不具合現象別故障診断

1	車両後退時、カー・マークが前進する		
考え方			
① LCDユニットのシフト・ポジション(MT車：バック、AT車：Rレンジ)信号系統不具合			
• LCDユニットの不具合 • LCDユニット～バック・アップ・ライト・スイッチ (MT車)、インヒビタ・スイッチ (AT車) 間のワイヤ・ハーネスの不具合 • バック・アップ・ライト・スイッチ (MT車)、インヒビタ・スイッチ (AT車) の不具合			
ステップ	点 検		処 置
1	車両後退時、バック・アップ・ライトが点灯するか	Yes	次のステップに進む
		No	バック・アップ・ライト回路を修理後、ステップ3に進む
2*	LCDユニット・コネクタ(8極)を切離す イグニッション・スイッチをONの位置にする (MT車) シフト・レバーをバックに入れる (AT車) セレクタ・レバーをRレンジにシフトする 以下のLCDユニット(8極、ハーネス側)端子電圧を点検する シフト・ポジション(MT車：バック、AT車：Rレンジ)信号(1C端子) 端子電圧は9V以上であるか	Yes	LCDユニットを交換 (SS店にて修理または代品入手) 後、次のステップに進む
		No	LCDユニット(8極、1C端子)～バック・アップ・ライト・スイッチ (MT車)、インヒビタ・スイッチ (AT車) 間のワイヤ・ハーネスを点検後、次のステップに進む
3	カー・マークが実際に走行中の道路と一致するか	Yes	トラブルシューティング終了
		No	不具合現象を再確認後、再発する場合は、ステップ1に戻る

トラブルシューティング

2	車両走行中でもTVが映る		
考え方			
① LCDユニットのパーキング・ブレーキ信号系統不具合			
● パーキング・ブレーキ・スイッチの不具合			
● LCDユニットの不具合			
● LCDユニット～パーキング・ブレーキ・スイッチ、コンビネーション・メータ間のワイヤ・ハーネスの不具合			
ステップ	点 検		処 置
1	パーキング・ブレーキ・スイッチの点検を行う 正常か	Yes	次のステップに進む
		No	パーキング・ブレーキ・スイッチを交換後、ステップ3 に進む
2*	LCDユニット・コネクタ(8極)、パーキン グ・ブレーキ・スイッチ・コネクタを切離す LCDユニット(8極、1I)端子～パーキン グ・ブレーキ・スイッチ、コンビネーション・ メータ間のワイヤ・ハーネスにGNDショート があるか	Yes	LCDユニット～パーキング・ブレーキ・スイッチ、コ ンビネーション・メータ間のワイヤ・ハーネスを修正 後、次のステップに進む
		No	LCDユニットを交換(SS店にて修理または代品入 手)後、次のステップに進む
3	車両走行中は、TVが映らないか	Yes	トラブルシューティング終了
		No	不具合現象を再確認後、再発する場合は、ステップ1に 戻る

3	TVモード時、パーキング・ブレーキ・レバーを引いてもTVが映らない		
考え方			
① LCDユニットのパーキング・ブレーキ信号系統不具合			
● パーキング・ブレーキ・スイッチの不具合			
● LCDユニットの不具合			
● LCDユニット～パーキング・ブレーキ・スイッチ間のワイヤ・ハーネスの不具合			
ステップ	点 検		処 置
1	パーキング・ブレーキ・スイッチの点検を行う 正常か	Yes	次のステップに進む
		No	パーキング・ブレーキ・スイッチを交換後、ステップ3 に進む
2*	LCDユニット・コネクタ(8極)、パーキン グ・ブレーキ・スイッチ・コネクタを切離す LCDユニット(8極、1I)～パーキング・ブ レーキ・スイッチ間のワイヤ・ハーネスに導通 があるか	Yes	LCDユニットを交換(SS店にて修理または代品入 手)後、次のステップに進む
		No	LCDユニット～パーキング・ブレーキ・スイッチ、コ ンビネーション・メータ間のワイヤ・ハーネスを修正 後、次のステップに進む
3	TVモード時、パーキング・ブレーキ・レバー を引くとTVが映るか	Yes	トラブルシューティング終了
		No	不具合現象を再確認後、再発する場合は、ステップ1に 戻る

トラブルシューティング

4	ナビ・モード時、カー・マークが飛ぶ(スピード・メータの作動は正常)		
考え方			
① LCDユニットの車速信号系統不具合			
● LCDユニットの不具合 ● コンビネーション・メータの不具合 ● LCDユニット～コンビネーション・メータ間のワイヤ・ハーネスの不具合			
ステップ	点 検		処 置
1*	LCDユニット・コネクタ(8極)を切離す 車両をジャッキ・アップし低速走行する 以下のLCDユニット(8極)端子電圧を点検する ● 車速信号(1 J 端子) 端子電圧は約2.5 V (平均値) あるか 参考 ● 車速信号は、約0 V～約5 Vの繰り返しのパルスとなっています	Yes	LCDユニットを交換(SS店にて修理または代品入手)後、ステップ4に進む
		No	次のステップに進む
2*	コンビネーション・メータ・コネクタ(20極)を切離す 以下のLCDユニット(8極)～コンビネーション・メータ(20極)間のワイヤ・ハーネスに導通があるか ● LCDユニット(1 J 端子)～コンビネーション・メータ	Yes	次のステップに進む
		No	LCDユニット～コンビネーション・メータ間のワイヤ・ハーネスを修正後、ステップ4に進む
3	以下のLCDユニット(8極)～コンビネーション・メータ(20極)間のワイヤ・ハーネスにショートがあるか ● LCDユニット(1 J 端子)～コンビネーション・メータ	Yes	LCDユニット～コンビネーション・メータ間のワイヤ・ハーネスを修正後、次のステップに進む
		No	コンビネーション・メータを交換後、次のステップに進む
4	カー・マークの作動が正常になったか	Yes	トラブルシューティング終了
		No	不具合現象を再確認後、再発する場合は、ステップ1に戻る

5	ヘッド・ライト・スイッチをONにしても夜画面に切り替わらない(フロント・コンビネーション・ライト、リヤ・コンビネーション・ライトの作動は正常)		
考え方 ① LCDユニットのTNS(+)信号系統不具合 ● LCDユニットの不具合 ● LCDユニット～TNSリレー間のワイヤ・ハーネスの不具合			
ステップ	点 検	処 置	
1*	ヘッド・ライト・スイッチをONにする 以下のLCDユニット(12極)端子電圧を点検する ● TNS(+)信号(2 E端子) 端子電圧は10V 以上あるか	Yes	LCDユニットを交換(SS店にて修理または代品入手)後、次のステップに進む
		No	LCDユニット～TNSリレー間のワイヤ・ハーネスを修正後、次のステップに進む
2	ヘッド・ライト・スイッチをON時、夜画面に切り替わるか	Yes	トラブルシューティング終了
		No	不具合現象を再確認後、再発する場合は、ステップ1に戻る

トラブルシューティング

6	TVの音声、映像共に作動しない		
考え方			
TVチューナのパワーGND、ACC、+B、LCDユニット通信(+)、LCDユニット通信(-)系統不具合			
● LCDユニット又はTVチューナの不具合(交換前に部品メーカーのSS店と相談する)			
● LCDユニット～TVチューナ間のワイヤ・ハーネスの不具合			
ステップ	点 検		処 置
1*	LCDユニット・コネクタ(16極)、TVチューナ・コネクタ(20極)を切離す 以下のLCDユニット(16極)～TVチューナ(20極)間のワイヤ・ハーネスに導通があるか ● LCDユニット(3G端子)～TVチューナ(1T端子) ● LCDユニット(3H端子)～TVチューナ(1Q端子) ● LCDユニット(3K端子)～TVチューナ(1S端子) ● LCDユニット(3M端子)～TVチューナ(1A端子) ● LCDユニット(3N端子)～TVチューナ(1B端子)	Yes	次のステップに進む
		No	LCDユニット～TVチューナ間のワイヤ・ハーネスを修正後、ステップ3に進む
2	以下のLCDユニット(16極)～TVチューナ(20極)間のワイヤ・ハーネスにショートがあるか ● LCDユニット(3G端子)～TVチューナ(1T端子) ● LCDユニット(3H端子)～TVチューナ(1Q端子) ● LCDユニット(3K端子)～TVチューナ(1S端子) ● LCDユニット(3M端子)～TVチューナ(1A端子) ● LCDユニット(3N端子)～TVチューナ(1B端子)	Yes	LCDユニット～TVチューナ間のワイヤ・ハーネスを修正後、次のステップに進む
		No	部品メーカーのSS店へ相談する
3	TVが正常に作動するか	Yes	トラブルシューティング終了
		No	不具合現象を再確認後、再発する場合は、ステップ1に戻る

7	TVの音声が出ない、または音声小さい(他のモードでは正常)		
考え方			
① LCDユニットの音声出力RH、音声出力LH、音声入力RH、音声入力LH、システム・ミュート信号系統不具合			
● LCDユニットまたはTVチューナの不具合(交換前に部品メーカーのSS店と相談する)			
● LCDユニット～TVチューナ間のワイヤ・ハーネスの不具合			
ステップ	点 検		処 置
1	不具合現象No. 6の症状が出ているか	Yes	不具合現象No. 6の故障診断を行う
		No	次のステップに進む

トラブルシューティング

ステップ	点 検	処 置
2*	LCDユニット・コネクタ(16極)、TVチューナ・コネクタ(20極)を切離す 以下のLCDユニット(16極)～TVチューナ(20極)間のワイヤ・ハーネスに導通があるか • LCDユニット(3A端子)～TVチューナ(1I端子) • LCDユニット(3B端子)～TVチューナ(1J端子) • LCDユニット(3C端子)～TVチューナ(1K端子) • LCDユニット(3D端子)～TVチューナ(1L端子)	Yes 次のステップに進む
		No LCDユニット～TVチューナ間のワイヤ・ハーネスを修正後、ステップ5に進む
3*	以下のLCDユニット(16極)～TVチューナ(20極)間のワイヤ・ハーネスの電源(ACC、+B)ハーネスとのショートがあるか • LCDユニット(3L端子)～TVチューナ(1G端子)	Yes LCDユニット～TVチューナ間のワイヤ・ハーネスを修正後、ステップ5に進む
		No 次のステップに進む
4	以下のLCDユニット(16極)～TVチューナ(20極)間のワイヤ・ハーネスにGNDショートがあるか • LCDユニット(3A端子)～TVチューナ(1I端子) • LCDユニット(3B端子)～TVチューナ(1J端子) • LCDユニット(3C端子)～TVチューナ(1K端子) • LCDユニット(3D端子)～TVチューナ(1L端子)	Yes LCDユニット～TVチューナ間のワイヤ・ハーネスを修正後、次のステップに進む
		No 部品メーカーのSS店へ相談する
5	TVの音声は正常か	Yes トラブルシューティング終了
		No 不具合現象を再確認後、再発する場合は、ステップ1に戻る

8	TVの映像が出ない		
考え方			
① LCDユニットの映像入力、映像出力、ビデオGND信号系統不具合			
● LCDユニットまたはTVチューナの不具合(交換前に部品メーカーのSS店と相談する)			
● LCDユニット～TVチューナ間のワイヤ・ハーネスの不具合			
ステップ	点 検		処 置
1*	LCDユニット・コネクタ(16極)、TVチューナ・コネクタ(20極)を切離す 以下のLCDユニット(16極)～TVチューナ(20極)間のワイヤ・ハーネスに導通があるか ● LCDユニット(3 O端子)～TVチューナ(1 M端子) ● LCDユニット(3 P端子)～TVチューナ(1 N端子)	Yes	次のステップに進む
		No	LCDユニット～TVチューナ間のワイヤ・ハーネスを修正後、ステップ3に進む

トラブルシューティング

ステップ	点 検	処 置
2	以下のLCDユニット(16極)～TVチューナ(20極)間のワイヤ・ハーネスにショートがあるか ● LCDユニット(30端子)～TVチューナ(1M端子) ● LCDユニット(3P端子)～TVチューナ(1N端子)	Yes LCDユニット～TVチューナ間のワイヤ・ハーネスを修正後、次のステップに進む
		No 部品メーカーのSS店へ相談する
3	TVの映像は正常か	Yes トラブルシューティング終了
		No 不具合現象を再確認後、再発する場合は、ステップ1に戻る

9	TVの映像にノイズが出る		
考え方			
① LCDユニットの映像入力、映像出力、ビデオGND、パワーGND信号系統不具合			
● LCDユニットまたはTVチューナの不具合(交換前に部品メーカーのSS店と相談する)			
● LCDユニット～TVチューナ間のワイヤ・ハーネスの不具合			
ステップ	点 検		処 置
1	LCDユニット・コネクタ(16極)、TVチューナ・コネクタ(20極)を切離す 以下のLCDユニット(16極)～TVチューナ(20極)間のワイヤ・ハーネスに導通があるか ● LCDユニット(30端子)～TVチューナ(1M端子) ● LCDユニット(3P端子)～TVチューナ(1N端子) ● LCDユニット(3G端子)～TVチューナ(1T端子)	Yes	次のステップに進む
		No	LCDユニット～TVチューナ間のワイヤ・ハーネスを修正後、次のステップに進む
2	以下のLCDユニット(16極)～TVチューナ(20極)間のワイヤ・ハーネスにショートがあるか ● LCDユニット(30端子)～TVチューナ(1M端子) ● LCDユニット(3P端子)～TVチューナ(1N端子) ● LCDユニット(3G端子)～TVチューナ(1T端子)	Yes	LCDユニット～TVチューナ間のワイヤ・ハーネスを修正後、次のステップに進む
		No	部品メーカーのSS店へ相談する
3	ノイズが消えたか	Yes	トラブルシューティング終了
		No	不具合現象を再確認後、再発する場合は、ステップ1に戻る

トラブルシューティング

10	TVの音声にノイズが出る		
考え方			
① LCDユニットのシグナルGND信号系統不具合			
● LCDユニットまたはTVチューナの不具合(交換前に部品メーカーのSS店と相談する)			
● LCDユニット～TVチューナ間のワイヤ・ハーネスの不具合			
ステップ	点 検		処 置
1*	LCDユニット・コネクタ(16極)、TVチューナ・コネクタ(20極)を切離す 以下のLCDユニット(16極)～TVチューナ(20極)間のワイヤ・ハーネスに導通があるか ● LCDユニット(3F端子)～TVチューナ(1H端子)	Yes	次のステップに進む
		No	LCDユニット～TVチューナ間のワイヤ・ハーネスを修正後、ステップ3に進む
2	ノイズが消えたか	Yes	トラブルシューティング終了
		No	不具合現象を再確認後、再発する場合は、ステップ1に戻る

11	TVをON/OFFするとノイズが出る		
考え方			
① LCDユニットのシステム・ミュート信号系統不具合			
● LCDユニットまたはTVチューナの不具合(交換前に部品メーカーのSS店と相談する)			
● LCDユニット～TVチューナ間のワイヤ・ハーネスの不具合			
ステップ	点 検		処 置
1*	LCDユニット・コネクタ(16極)、TVチューナ・コネクタ(20極)を切離す 以下のLCDユニット(16極)～TVチューナ(20極)間のワイヤ・ハーネスに導通があるか ● LCDユニット(3L端子)～TVチューナ(1G端子)	Yes	次のステップに進む
		No	LCDユニット～TVチューナ間のワイヤ・ハーネスを修正後、ステップ3に進む
2	以下のLCDユニット(16極)～TVチューナ(20極)間のワイヤ・ハーネスにGNDショートがあるか ● LCDユニット(3L端子)～TVチューナ(1G端子)	Yes	LCDユニット～TVチューナ間のワイヤ・ハーネスを修正後、次のステップに進む
		No	部品メーカーのSS店へ相談する
3	TVをON/OFF時のノイズが消えたか	Yes	トラブルシューティング終了
		No	不具合現象を再確認後、再発する場合は、ステップ1に戻る

トラブルシューティング

SRSエア・バッグ・システム

はじめに

- 「トラブルシューティング」に取り掛かる前にセクションG Iを参照して、基本的な進め方を確認する。
- *印のある点検項目はワイヤ・ハーネスの接触不良による不具合が考えられるため、点検するときはワイヤ・ハーネスを揺すりながら行う。

不具合現象一覧表

No.	不具合現象
1	イグニッション・スイッチをONの位置にしてもエア・バッグ・システム・ワーニング・ライトが点灯しない
2	イグニッション・スイッチをONの位置にした直後にエア・バッグ・システム・ワーニング・ライトが点灯しつづける

不具合現象別故障診断

参考

- 不具合現象別トラブルシューティング・フローに沿って処置しても不具合が解消されない場合は、以下の原因が考えられる。

1. コンビネーション・メータ～SASユニット間のショート・コネクタ（6極）D端子の接触不良
2. A/B 10 Aフューズ～SASユニット間、ENGINE 15 Aフューズ～SASユニット間のショート・コネクタ（6極）A、F端子が同時に接触不良
3. SASユニット・コネクタ（21極）のS、X端子が同時に接触不良
4. SASユニット・コネクタ（21極）のAB、Z端子が同時に接触不良
5. SASユニット・コネクタ（21極）のS端子～アース間、X端子～アース間のワイヤ・ハーネスが同時に接触不良
6. A/B 10 Aフューズ～SASユニット間、ENGINE 15 Aフューズ～SASユニット間のワイヤ・ハーネスが同時に接触不良

トラブルシューティング

1	イグニッション・スイッチをONの位置にしてもエア・バッグ・システム・ワーニング・ライトが点灯しない		
考え方			
SASユニットの電源供給およびアース回路の不具合が考えられる			
① イグニッション・スイッチ～エア・バッグ・システム・ワーニング・ライト間のワイヤ・ハーネスの断線または短絡			
② エア・バッグ・システム・ワーニング・ライト～SASユニット間のワイヤ・ハーネスの断線			
③ エア・バッグ・システム・ワーニング・ライト・バルブ不良			
ステップ	点 検		処 置
1	コンビネーション・メータ・コネクタ (10極、16極) が確実に接続されているか	Yes	次のステップへ進む
		No	確実に接続した後、ステップ8へ進む
2	エア・バッグ・システム・ワーニング・ライト・バルブが確実に取付けられているか	Yes	次のステップへ進む
		No	確実に取付けた後、ステップ8へ進む
3	エア・バッグ・システム・ワーニング・ライト・バルブは正常か	Yes	バルブを取付けた後、次のステップへ進む
		No	バルブを交換した後、ステップ8へ進む
4	以下のコンビネーション・メータ・コネクタ端子を目視点検する ● 1C端子 (16極、イグニッション・スイッチ) ● 3D端子 (10極、SASユニット) 端子部に口開き、曲り、または抜けがあるか	Yes	不具合のあるワイヤ・ハーネスを交換した後、ステップ8へ進む
		No	次のステップへ進む
5	コンビネーション・メータ裏のプリント・プレート1C端子と3D端子間に導通があるか	Yes	次のステップへ進む
		No	プリント・プレートを交換した後、ステップ8へ進む
6	イグニッション・スイッチをLOCKの位置にする バッテリー (－) ケーブルを切離し、1分以上待つ インストルメント・パネルを取外す セクションS、インストルメント・パネル アンド コンソール、インストルメント・パネル 取外し／取付け SASユニット・コネクタ (21極) のQ端子部に口開き、曲り、または抜けがあるか	Yes	不具合のあるワイヤ・ハーネスを交換した後、ステップ8へ進む
		No	次のステップへ進む
7*	SASユニット・コネクタ (21極) を切離す SASユニット・コネクタQ端子とコンビネーション・メータ・コネクタ3D端子間に導通はあるか	Yes	SASユニットを交換した後、次のステップへ進む
		No	不具合のあるワイヤ・ハーネスを交換した後、次のステップへ進む
8	バッテリー (－) ケーブルを接続する イグニッション・スイッチをONの位置にした後、エア・バッグ・システム・ワーニング・ライトが正常に作動するか	Yes	トラブルシューティング終了
		No	不具合現象を再確認する

トラブルシューティング

2	イグニッション・スイッチをONの位置にした直後にエア・バッグ・システム・ワーニング・ライトが点灯しつづける		
考え方 エア・バッグ・システム・ワーニング・ライトからSASユニット間の短絡が考えられる			
ステップ	点 検		処 置
1	イグニッション・スイッチをLOCKの位置にする バッテリー（－）ケーブルを切離し、1分以上待つ クロック・スプリング・コネクタを切離す 助手席側エア・バッグ・モジュール・コネクタを切離す インストルメント・パネルを取外す ☞ セクションS、インストルメント・パネル アンド コンソール、インストルメント・パネル 取外し／取付け SASユニット・コネクタ（21極）が確実に接続されているか	Yes	次のステップへ進む
		No	コネクタを確実に接続した後、ステップ5へ進む
2	SASユニット・コネクタ（21極）を切離す Q、S端子間のショート・バーに曲がりがあるか	Yes	不具合のあるワイヤ・ハーネスを交換した後、ステップ5へ進む
		No	次のステップへ進む
3	SASユニットのショート・バーを動かす爪は正常か	Yes	次のステップへ進む
		No	SASユニットを交換した後、ステップ5へ進む ☞ SRSエア・バッグ・システム、SASユニット取外し／取付け
4*	SASユニット・コネクタ（21極）のQ、S端子間に絶縁物を挿入し、ショート・バーが働かない状態にする Q端子とアース間に導通があるか	Yes	不具合のあるワイヤ・ハーネスを交換した後、次のステップへ進む
		No	SASユニットを交換した後、次のステップへ進む ☞ SRSエア・バッグ・システム、SASユニット取外し／取付け
5	バッテリー（－）ケーブルを接続する イグニッション・スイッチをONの位置にした後、エア・バッグ・システム・ワーニング・ライトが正常に作動するか	Yes	トラブルシューティング終了
		No	不具合現象を再確認する